

一宮市行財政改革大綱  
(平成27年度-29年度)  
平成28年度実施状況

愛知県一宮市

## 目次

はじめに	・ ・ ・ ・	1
I 実施結果について	・ ・ ・ ・	2
II 効果額と使途について	・ ・ ・ ・	4
1 取組による効果額	・ ・ ・ ・	4
2 効果額の見直し	・ ・ ・ ・	5
3 効果額の使途	・ ・ ・ ・	6
III 取組ごとの実施状況	・ ・ ・ ・	7
1 デジタル市役所の推進	・ ・ ・ ・	8
2 財産(資産)の適正管理	・ ・ ・ ・	26
3 人材の育成・活用と効率的な組織運営の推進	・ ・ ・ ・	28
4 健全な財政運営の推進	・ ・ ・ ・	37
5 市民等との協働による地域力の活用	・ ・ ・ ・	50
IV 取組の追加について	・ ・ ・ ・	56
V 取組による財政効果	・ ・ ・ ・	61

## はじめに

一宮市では、行政改革推進の方針に沿って、昭和 61 年度以降平成 17 年度まで、数次にわたり行政改革大綱を作成してきました。これに基づいて、平成 21 年度までに、事務事業の見直しや合理化、平成 17 年 4 月の 2 市 1 町合併など様々な取組を行ってきましたが、さらに、限られた行政資源（人・財源）を効率的に投入して第 6 次一宮市総合計画に掲げる諸施策を実行するため、平成 22 年 8 月に「一宮市行財政改革大綱（平成 22 年度－26 年度）」を、平成 27 年 10 月に「一宮市行財政改革大綱（平成 27 年度－29 年度）」を策定・公表しています。

「一宮市行財政改革大綱（平成 27 年度－29 年度）」では、

- デジタル市役所の推進
- 財産（資産）の適正管理
- 人材の育成・活用と効率的な組織運営の推進
- 健全な財政運営の推進
- 市民等との協働による地域力の活用

の 5 つの重点課題を取組の柱として設定し、この課題を達成するための個別の取組計画である「第 3 期集中改革プラン」によって具体的な数値目標等を示しています。

この冊子では、「第 3 期集中改革プラン」の平成 28 年度の進捗状況を取りまとめて公表するとともに、「第 3 期集中改革プラン」の見直しを行い、新たな取組を追加しています。

## I 実施結果について

「第3期集中改革プラン」には55項目の取組を掲載しています。平成28年度は50項目の取組を行いました。5項目については平成29年度以降に取り組みます。

重点課題別の取組状況は、次表のとおりです。

重点課題	項目数	28年度までに取組	29年度以降に取組
1. デジタル市役所の推進	18	17	1
2. 財産(資産)の適正管理	4	4	0
3. 人材の育成・活用と効率的な組織運営の推進	13	11	2
4. 健全な財政運営の推進	16	14	2
5. 市民等との協働による地域力の活用	3	3	0
6. その他	1	1	0
合計	55	50	5

各取組項目は、実施状況と達成状況により次表のように評価します。

達成状況 実施状況	平成29年度までの取組目標を達成済み	取組による一定の成果が挙げられている	取組の成果が挙げられていない
計画された取組を全て実施	◎	○	△
計画された取組の一部を実施	○	○	△
取組の実施時期が来ていない	—	—	—

◎・・・計画した取組を実施して、平成29年度までの目標を達成済みであり、以降の年度は取組内容を継続していけばよいもの（取組を完了したものを含む。）

○・・・計画した取組の全部又は一部を実施して、一定の成果を挙げており、平成29年度までに目標の達成を目指して取組内容を発展・推進していくもの

△・・・計画した取組の全部又は一部を実施したが、成果が挙げられていないもの

—・・・検討段階であり取組が始まってから評価を行うもの、または廃止したもの。

取組事項の進捗状況評価は、次のとおりです。

番号	取組事項	評価
1	デジタル市役所の推進	
	(1) 市民サービスの向上	
1	分かりやすいウェブサイトによる情報提供	◎
2	ICTを活用した防災・災害時の情報提供	○
3	オンライン手続の拡大と利用促進	◎
4	G空間（地理空間）情報の利活用	—
5	多様な手段による情報提供	◎
6	フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）の整備	◎
7	テレビ電話による通訳サービスの導入	◎
8	マイナンバーカード交付WEB予約システムの導入	○
9	一宮市子育て支援サイト再構築・一宮市子育て支援アプリ構築	◎

	業務	
1 0	電子書籍の貸出サービスの実施及びデジタル化郷土資料（写真）の公開	○
(2) 事務の電子化		
1 1	調達事務・財務会計事務の高度化・効率化	○
1 2	文書事務の高度化・効率化	○
1 3	I C Tガバナンスの強化と I C T投資の効率化	◎
1 4	業務システムの効果的・効率的な運用	◎
1 5	グリーン I C Tの推進	◎
1 6	庁内インフラの整備と利用促進	◎
1 7	情報セキュリティレベルの向上	◎
1 8	こども家庭相談システム構築・運用	◎
2 財産(資産)の適正管理		
1 9	公共施設マネジメントの推進	○
2 0	焼却施設基幹的設備改良工事の実施	○
2 1	上下水道事業アセットマネジメントシステムの導入	◎
2 2	消防力充実強化（消防出張所庁舎建設）事業	○
3 人材の育成・活用と効率的な組織運営の推進		
(1) 職員の能力向上と人材の活用		
2 3	女性職員のキャリア形成の促進	○
2 4	専門知識や技能をもった人材の登用	—
2 5	庁内プロジェクトの公募	◎
2 6	研修計画等の見直し	◎
2 7	国・県等との人事交流及び民間企業への派遣研修の実施	◎
2 8	テレワークの推進	◎
2 9	I C T活用能力の育成	◎
3 0	退職保育士を保育園運営支援に活用	◎
(2) 人事制度と組織の見直し		
3 1	適正な職員数の管理	○
3 2	人事評価結果の昇給等への反映	—
3 3	昇進試験制度の見直し	○
3 4	組織体制の見直し	◎
3 5	審議会等の会議の見直し	◎
4 健全な財政運営の推進		
(1) 歳入の確保		
3 6	ふるさと納税（いちのみや応援寄附金）の活性化	◎
3 7	手数料の見直し	—
3 8	公金納付方法の多様化への対応	○
3 9	一般競争入札による行政財産の賃貸	◎
4 0	木曾川文化会館ネーミングライツ事業	◎

(2) 効率的な執行		
4 1	給与の適正管理	◎
4 2	電気料金の節減	◎
(3) 民間活力導入の推進		
4 3	市立保育園給食調理業務委託の推進	○
4 4	ごみ収集業務委託の推進	○
4 5	ごみ焼却施設管理業務委託の推進	○
4 6	指定管理者制度の導入（尾張一宮駅前ビル）	○
4 7	学校給食調理業務委託の推進	○
(4) 企業会計の経営健全化		
4 8	「新公立病院改革ガイドライン」に基づく病院事業改革	○
4 9	中期財政計画に基づく経営基盤の強化	—
5 0	水道料金等の徴収業務の民間委託	○
(5) その他		
5 1	財政調整基金現在高の水準維持	○
5	市民等との協働による地域力の活用	
5 2	地域づくり協議会の設置と補助金の見直し	○
5 3	i-バス・生活交通バス運行事業の見直し	○
5 4	地域住民、NPO等との協働による生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築	○
6	その他	
5 5	地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定	○

## II 効果額と使途について

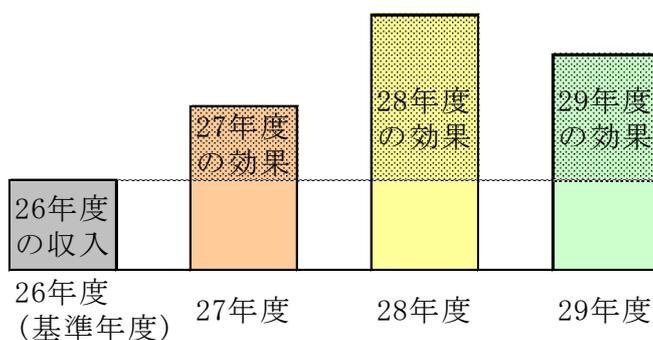
### 1. 取組による効果額

改革による効果額は、取組前と取組後の収入や経費等の差額です。

改革プランは平成27年度から29年度までの事業見直しの具体的な取組を策定したものであり、効果額は、取組前である平成26年度と各年度との比較により算出することとしています。平成27年度の効果額は決算に伴う確定額、平成28年度以降は見込み額です。

(例) 収入が増加する取組の場合の各年度の効果

No.31 ふるさと納税(いちのみや応援寄附金)の活性化など



(例) 経費を削減する取組の場合の各年度の効果

No.42 電気料金の節減、No.43 市立保育園給食調理業務委託の推進など



2. 効果額の見直し

平成 28 年度の給与費や事業費の確定により、29 年度までの計画期間に見込まれる効果額の再計算を行いました。また、取組が追加されたもの、及び改革プランの策定時には効果額が未定であった取組のうち具体的な効果額の算定が可能になったものがあるため、3 年間の効果額合計を次表のとおり見直しました。

(昨年度公表時)

	3年間の効果額
歳入の確保	63,313 千円
歳出の削減	572,295 千円
効果額合計	635,608 千円

(見直し後)

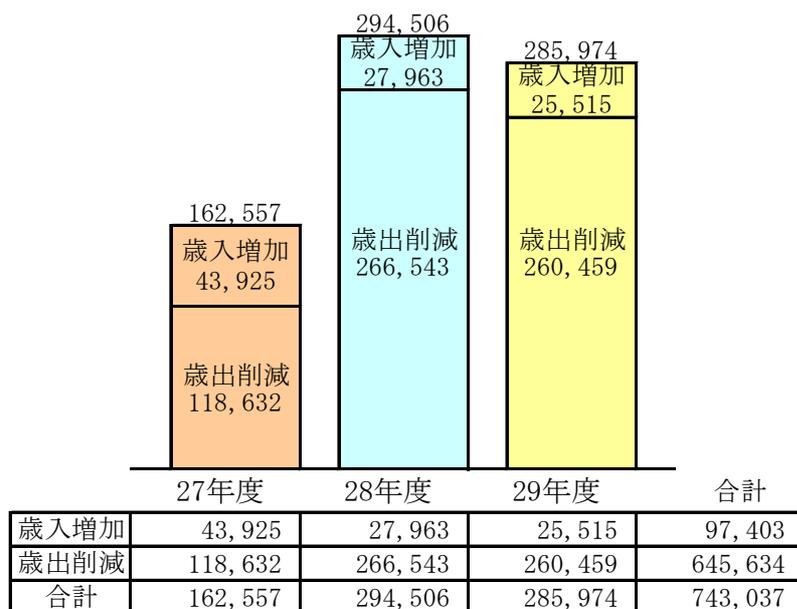
	3年間の効果額
歳入の確保	97,403 千円
歳出の削減	645,634 千円
効果額合計	743,037 千円

⇒

(60 ページに内訳を記載)

各年度の効果額の見込み

(単位：千円)



### 3. 効果額の使途

取組の成果である効果額は、新たなサービスや、増え続ける社会保障関係経費の財源となります（特定の事業に財源として充てることを定めるものではありません）。

たとえば、今回の改革プランのうち重点課題1 デジタル市役所の推進(1)市民サービスの向上として、次表に掲げる取組をはじめ10の取組をしています。これらの取組の実行のためには、多額の経費が必要になりますが、平成28年度の効果額である2億9,450万千円の一部は、これらの執行経費の財源に充てられることとなります。

なお、これは一例であり、取組の成果である効果額は、改革プランに掲げられていない事務・事業の執行経費の財源としても活用されます。

#### ○平成28年度に実施した市民サービスの向上に係る事業に要した経費（主なもの）

番号	取組事項の名称	事業に要した経費
1	分かりやすいウェブサイトによる情報提供	4,822 千円
2	I C Tを活用した防災・災害時の情報提供	23,685 千円
3	オンライン手続の拡大と利用促進	364 千円
6	フリーWi-Fi（無料公衆無線 LAN）の整備	37,536 千円
8	マイナンバーカード交付 WEB 予約システムの導入	11,275 千円
9	一宮市子育て支援サイト再構築・一宮市子育て支援アプリ構築業務	10,584 千円
10	電子書籍の貸出サービスの実施及びデジタル化郷土資料（写真）の公開	5,362 千円

### Ⅲ 取組ごとの実施状況

<記載例>

① 番号	43	② 担当部課	こども部保育課		
③ 取組事項	市立保育園給食調理業務委託の推進				
④ 取組内容	調理員の退職者を新規職員により補充せず、民間業者に給食調理業務を委託し、調理業務委託園を増やしていく。給食調理専門業者に委託することで、衛生管理や人員管理等に民間のノウハウを期待でき、人件費の削減に加えより質の高い給食を児童に提供する。				
⑤ 効果	人件費を削減する。 衛生管理や人員管理等に民間のノウハウを活かす。	効果額 (千円)	⑥ △ 65,500		
実施 スケジュール		H27	H28	H29	
	⑦ 給食調理業務の委託	⑧ 計画	推進		
		⑨ 進捗	推進	推進	
		⑩ 効果	△15,366千円	△25,914千円	△24,220千円
		⑪ うち単年効果	△15,366千円	△10,548千円	1,694千円
	H○	⑫ 実施内容	①平成○年度末退職者3人の補充を行わず、新たに1園の委託を追加した。(○年度)31園→(○年度)32園 ②委託を3年契約から3年6カ月の長期継続契約とし経費削減に努めた。		
	⑬ 生じた効果	①3人分の人件費を削減した。 ②委託料を低く抑えることができた。			

① 番号 : 重点課題の順に番号を付しています。一宮市情報化推進計画掲載の取組には、【情○.○】と情報化推進計画における施策番号を記載しています。

② 担当部課 : 取組を主担当として実施する部課名です。

③ 取組事項 : 取組の名称です。一宮市情報化推進計画掲載の取組には、名称の後に【情報化推進計画】と記載しています。

④ 取組内容 : 取組の方法を具体的に示します。

⑤ 効果 : 取組によって期待できる効果です。

⑥ 効果額 : 平成29年度までの財政効果額の見込みです。

※効果額の考え方は4ページを参照

⑦ (細目) : 取組を達成するために行う具体的な事業です。

⑧ 計画 : 各年度の進行予定です。



取組の実施に向けて調査や準備、システム構築の段階にある年度です。



事業の開始や廃止、システムの稼働、人員の削減など、具体的な取組を始める年度です。



「実施」された取組（以前から行っている取組を含む）を同じ内容で行う年度です。



「実施」された取組（以前から行っている取組を含む）の拡大や見直しを行う年度です。

⑨ 進捗 : ⑧の計画に対する進捗状況です。

⑩ 効果 : 年度ごとの効果を数量で表します。

⑪ うち単年効果 : ⑩の財政効果額のうち当該年度の取組によって発生する効果額です。

⑫ 実施内容 : 各年度に行った実施、検討等の内容を記載しています。

⑬ 生じた効果 : ⑫により生じた効果です。

1 デジタル市役所の推進

(1) 市民サービスの向上

番号	1 【情1.3】	担当部課	企画部広報課、総務部情報推進課		
取組事項	分かりやすいウェブサイトによる情報提供【情報化推進計画】				
取組内容	分かりやすいウェブサイトによる情報提供を実現するため、ウェブサイト更新システム（CMS）を導入し、市ウェブサイトのリニューアルする。ウェブサイト为本市の重要な情報提供手段の一つと位置づけ、幅広い市民に、欲しい情報がいつでも得られる、市民の視点に立った分かりやすいページの提供を推進する。				
効果	災害など緊急時の情報提供やスマートフォンなどへの対応、利用者の視点やアクセシビリティの規格に対応したページを提供することができる。市民の視点に立った分かりやすいウェブサイトの提供を推進する。 (目標値：よくある質問集へのアクセス数 473,900件)				
実施 スケジュール			H27	H28	H29
	ウェブサイト更新システム（CMS）の導入		計画 実施	推進	
			進捗	実施	推進
	H27	実施内容	平成28年2月にウェブサイト更新システム（CMS）を導入し、市ウェブサイトのリニューアルした。 (平成27年度事業費 委託料23,112千円)		
		生じた効果	ウェブサイトの円滑かつ統一的運営を図ることができた。 よくある質問集へのアクセス数：326,824件		
	H28	実施内容	リニューアルした市ウェブサイトで、ウェブサイト更新システム（CMS）を継続運用した。 (平成28年度事業費 委託料3,526千円)		
		生じた効果	ウェブサイトの円滑かつ統一的運営を図ることができた。 よくある質問集へのアクセス数：394,888件 (目標値を312,700件から473,900件へ上方修正)		
	地図情報サイトの効果的な活用		計画 実施	推進	
			進捗	実施	推進
	H27	実施内容	平成27年7月から新システムにリニューアルし、新規項目として「AEDマップ」「戦国武将マップ」を追加した。 (平成27年度事業費 委託料7,772千円)		
		生じた効果	GPSによる現在地把握やルート検索等、操作性が大幅に向上し、使いやすいサイトとなった。 地図情報サイトアクセス数：99,454件		
	H28	実施内容	地図情報サイトに新規項目として「Wi-Fiマップ」「介護予防マップ」「ウォーキングマップ」を追加した。(平成28年度事業費 委託料1,296千円)		
	生じた効果	利便性の向上に寄与し、地図情報サイトへのアクセス数が前年度より約14%増加した。 地図情報サイトアクセス数：113,070件			

番号	2【情1.1】	担当部課	総務部危機管理課、建設部治水課、消防本部通信指令課			
取組事項	ICTを活用した防災・災害時の情報提供【情報化推進計画】					
取組内容	Eメールアドレスの登録者に対して、防災情報の提供を推進する。災害情報の発信および収集を目的としたSNSの利用を検討し、ガイドラインの作成・運用を開始する。					
効果	Eメールを使い、迅速に災害情報を提供することにより、災害時の不安を軽減し安全な行動を促す。 災害情報の提供は重層的な取り組みが必要である。広報車やコミュニティFMなどでは再確認や更新情報の把握がしづらく、また、「登録制メール」は事前登録者にしか情報が伝達できないなどの課題がある。SNSを利用した災害情報の提供および収集を行うことで従来の課題を解消するとともに、より多くの方との情報の共有が可能になる。 (目標値：メール及びSNS登録者数 17,000件)					
実施スケジュール	あんしん・防災ねつとの運用		計画	H27 H28 H29 → 推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	メール登録者数 12,262件(27年度目標値17,000件) ※H28年3月31日現在 (平成27年度事業費 委託料3,078千円)			
	H28	実施内容	メール登録者数 12,741件(27年度目標値17,000件) ※H29年3月31日現在 ※28年度より災害メール119を統合 (平成28年度事業費 委託料3,078千円)			
	SNSを利用した災害情報の提供および収集		計画	実施	→ 推進	
			進捗	検討	実施	
	H27	実施内容	平成28年4月の防災情報公式ツイッターの運用開始に向けて準備を進めた。			
	H28	実施内容	災害情報に関する緊急情報や防災イベント等の情報を発信した。 フォロワー数 302名			
		生じた効果	多様なソースで発信することで、より多くの方との情報共有が可能となった。			
	河川等水位監視システムの拡張		計画	→ 推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	平成28年3月から河川等水位監視システムをクラウド化し、2局増設(計31局)した。 (平成27年度事業費 工事費・システム委託料1,717千円)			
		生じた効果	河川等水位監視システムを活用した河川監視の継続運用を行い、浸水被害の軽減に役立てられる。			
	H28	実施内容	河川等水位監視システム「河川等水位情報」を継続運用し、河川監視を行った。 (平成28年度事業費 委託料20,607千円)			
		生じた効果	浸水被害の軽減を図った。			

番号	3【情1.5】	担当部課	総務部情報推進課			
取組事項	オンライン手続の拡大と利用促進【情報化推進計画】					
取組内容	オンライン手続の充実を図り、利用の拡大を進める。					
効果	オンライン利用者の利便性を向上させる。 (目標値：オンライン手続ポータルサイトのアクセス数 2,600件) (目標値：電子申請システム利用件数 1,015件)					
実施 スケジュール	オンライン手続のポータルサイトの利用拡大		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	本市のすべてのオンライン手続の入口となるポータルサイトであり、平成28年2月に市ウェブサイトとともにリニューアルした。			
	H27	生じた効果	ポータルサイトアクセス数：3,533件 オンライン利用者の利便性が向上したため、目標値であるアクセス数2,600件を上回った。			
	H28	実施内容	ポータルサイトの周知を図った。			
	H28	生じた効果	ポータルサイトアクセス数：1,690件 ポータルサイトをリニューアルしたが、前年度実績を下回った。			
	あいち電子申請・届出システムの利用拡大		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	新システムの導入によりスマートフォンでも利用できるようにした。また、職員採用試験の申請件数が増加し、新規で防火管理新規講習申込み等を開始した。 (平成27年度事業費 委託料827千円)			
	H27	生じた効果	新システムの導入により利用者の利便性が向上した。また、利用件数は637件となり、前年度より20%の増加となった。			
	H28	実施内容	体力テスト、市政アンケート、尾西生涯学習センター利用計画書等の受付を追加した。 (平成28年度事業費 委託料364千円)			
	H28	生じた効果	利用件数は1,055件となり、前年度より65%の増加となった。			

番号	4【情1.8】	担当部課	総務部情報推進課		
取組事項	G空間（地理空間）情報の利活用【情報化推進計画】				
取組内容	官民が保有するG空間（地理空間）情報とICTを融合させて利活用することにより、防災やくらしの安心に役立つ情報やサービスを提供する。				
効果	G空間（地理空間）情報を入手し利活用することにより、市民が必要としている災害状況の防災情報や防犯・交通等のくらしの安心に役立つ情報等を市民に提供できる。				
実施スケジュール	G空間（地理空間）情報による防災情報等の提供		計画	H27 検討 → H28 検討 → H29 実施	
			進捗	検討	検討
	H27	実施内容	必要なG空間情報をワンストップで入手できる「G空間プラットフォーム」の構築を国が進めているため、平成29年度の情報提供開始に向けて検討した。		
		生じた効果	-		
	H28	実施内容	G空間情報センターが開設されたが、利用料が必要な情報も多く含まれており、今後の動向を注視しながら、実行可能な方法を検討していく。		
		生じた効果	-		
	G空間（地理空間）情報によるくらしの安心に役立つ情報等の提供		計画	H27 検討 → H28 検討 → H29 実施	
			進捗	検討	検討
	H27	実施内容	必要なG空間情報をワンストップで入手できる「G空間プラットフォーム」の構築を国が進めているため、平成29年度の情報提供開始に向けて検討した。		
		生じた効果	-		
	H28	実施内容	G空間情報センターが開設されたが、利用料が必要な情報も多く含まれており、今後の動向を注視しながら、実行可能な方法を検討していく。		
		生じた効果	-		

番号	5【情1.4】	担当部課	総務部情報推進課		
取組事項	多様な手段による情報提供【情報化推進計画】				
取組内容	本市が発信する情報を市民が受け取りやすくなるように、各種媒体を活用した情報提供を推進する。				
効果	本市が保有する情報を市民や民間企業に公開することにより、オープンデータが利活用され、市民サービスの向上や地域経済の活性化に繋がる。 ※オープンデータ：インターネット等を通じて誰でも自由に入手・利用できるデータ				
実施 スケジュール	利活用できるオープンデータの公開	計画	H27	H28	H29
		進捗	検討	実施	推進
	H27	実施内容	あいち電子自治体推進協議会の共通課題研究会に出席し、県と各市町村で共同してオープンデータカタログサイトを構築するかどうか検討した。		
	H27	生じた効果	共通課題研究会で策定予定のガイドラインを参考にし、平成28年度中に市単独のオープンデータカタログサイトを構築する予定となった。		
	H28	実施内容	平成28年12月に市単独のオープンデータカタログサイトを構築し、運用を開始した。		
	H28	生じた効果	データ公開件数：82件		

番号	6【情1.5】	担当部課	総務部情報推進課
取組事項	フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）の整備【情報化推進計画】		
取組内容	本庁舎及び各施設で市民や観光客などがインターネットを手軽に利用できるようにフリーWi-Fi整備（無料公衆無線LAN）を行う。そして引き続きサービス提供箇所の追加を行うことにより、さらに整備を推進する。 施策番号12「庁内インフラの整備と利用促進」のWi-Fi環境を市民にも開放することで、業務効率とともに市民の利便性が向上する。		
効果	市民や観光客などへの観光情報等の発信とともに、行政・防災情報等の発信も併せて行い、利便性の向上を図る。		

		H27	H28	H29
実施スケジュール	フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）の整備	計画		
		進捗	一部実施	実施・推進
	H27	実施内容 本庁舎及び各施設のフリーWi-Fiの整備を進めた。 (平成27年度事業費 整備費3,746千円)		
		生じた効果 -		
	H28	実施内容 平成28年度末時点で87カ所のアクセスポイントを整備し、運用を開始した。 (平成28年度事業費 整備費37,536千円)		
		生じた効果 市の主要な施設でフリーWi-Fiが利用できるようになり、住民の利便性が向上した。		

番号	7【情1.7】	担当部課	総務部情報推進課
取組事項	テレビ電話による通訳サービスの導入【情報化推進計画】		
取組内容	外国人来庁者に対する窓口業務の円滑なコミュニケーションを図るため、テレビ電話の仕組みとタブレット端末、インターネット（Wi-Fi）を活用した7カ国語以上対応の通訳サービスを導入する。また、サービス導入後は利用拡大を推進する。		
効果	外国人来庁者に対する窓口業務の円滑なコミュニケーションを図ることにより、市民サービスの向上と業務の効率化を図る。		

		H27	H28	H29
実施スケジュール	テレビ電話による通訳サービスの導入	計画	-	
		進捗	-	実施
	H27	実施内容 -		
		生じた効果 -		
	H28	実施内容 端末4台を整備し、運用を開始した。		
		生じた効果 平成29年3月には7件の利用があり、徐々に利用件数が増えている。		

番号	8	担当部課	市民健康部市民課			
取組事項	マイナンバーカード交付WEB予約システムの導入					
取組内容	行政の効率化と住民の満足度を高めるため、マイナンバーカードの受け取りをパソコン、スマートフォン、タブレットを用い24時間インターネット予約ができる環境を構築し、受け取り時の待ち時間を解消する。また、予約忘れを防止するため、予約日が近付いたことを知らせる案内メールを送信し、プッシュ型の住民サービスを実現する。					
効果	待ち時間なくマイナンバーカードの交付を受けることができる。 予約の変更が住民により行えるため、効率的なカード交付が可能になる。 本庁舎のみでなく、尾西庁舎・木曾川庁舎での受け取り予約が可能になる。 事前に予約者が把握できるので、職員数の調整など効率的な事務運用ができる。					
実施 スケジュール			H27	H28	H29	
	マイナンバーカード交付WEB予約システムの導入		計画 実施	継続		
			進捗	実施	継続	
	H27	実施内容	WEB予約システムの導入及び運用開始 (H28. 1～) (平成27年度事業費 構築費・利用料11,577千円)			
	H27	生じた効果	利用者の利便の向上を図った。			
	H28	実施内容	WEB予約システムの運用 (平成28年度事業費 利用料11,275千円) 予約システムの導入により、マイナンバーカードの初期交付時における混雑解消を図ることができた。マイナンバーカードの交付数は、平成28年6月の3,556件をピークに、平成28年9月以降は、平均1,200件の交付数に落ち着いている。このため、現行制度においては、交付時に混雑することは少ないことと、予約システムにかかる費用が高額であることから予約制を平成28年度末をもって廃止するに至った。			
H28	生じた効果	利用者の利便の向上を図った。				

番号	9	担当部課	こども部子育て支援課			
取組事項	一宮市子育て支援サイト再構築・一宮市子育て支援アプリ構築業務					
取組内容	<p>現行の一宮市子育て支援サイトを一宮市全体の子ども・子育て支援に関するウェブサイトへと再構築するとともに、スマートフォンへの対応を強化する。同時に、スマートフォンアプリも構築し、子育て家庭が簡単、手軽に情報を取得できる仕組みと電子母子手帳機能（健診、予防接種のスケジュール管理等ができる機能）を取り入れ、子育てしやすい環境を整備する。</p>					
効果	<p>スマートフォンへの順応性が高い若い子育て世代にとって情報を得る手段ができ、また電子母子手帳機能は、利用者が児童の成長記録等を入力し、管理することができるようになり、子育て世帯の利便性が高まる。</p>					
実施スケジュール	一宮市子育て支援サイトの再構築・一宮市子育て支援アプリの構築		計画	H27	H28	H29
			進捗	—	実施	継続
	H27	実施内容	—			
	H27	生じた効果	—			
	H28	実施内容	<p>子育て支援サイトを再構築し、市民健康部・教育文化部等の他部門も含めて子育てに関する情報を幅広く得られるようコンテンツを拡充したことに加え、新たにスマートフォンアプリも構築した。 (平成28年度事業費 委託料10,584千円)</p>			
	H28	生じた効果	<p>ジャンル別やライフステージ別に情報が検索できるサイトとなり、電子母子手帳機能などを備えたアプリも加わったことで、利便性が高まった。</p>			

番号	10	担当部課	教育文化部図書館事務局			
取組事項	電子書籍の貸出サービスの実施及びデジタル化郷土資料（写真）の公開					
取組内容	電子書籍を購入し、図書館システムと連携し一宮市在住者に対して電子書籍の貸出等を行う。 平成21年度及び23年度にデジタル化した郷土資料（写真）の有効活用のため、歴史資料検索閲覧システム（ADEAC）を利用し、デジタル化郷土資料（写真）をインターネット上で公開する。					
効果	<p>図書館へ行かなくても24時間貸出・返却ができるので、非来館者層の利用促進に繋がる。</p> <p>文字拡大や音声読上げ機能等により高齢者や障害者の利用促進に繋がる。</p> <p>図鑑や言語学習等電子書籍の特性を活かした資料を提供できる。</p> <p>書籍のメンテナンス、貸出業務等、維持コストが低い。</p> <p>電子書籍は、物理的なスペースをほとんど必要としないので、保管場所の心配がない。</p> <p>破損・劣化を恐れることなく、埋もれていた貴重な資料を広く提供できる。</p> <p>インターネット上で、どこからでも同時に多くの利用者に資料を提供できる。</p> <p>データベース化により、様々な角度から資料の検索ができる。</p>					
実施スケジュール	電子書籍の貸出サービスの実施		計画	H27 検討	H28 実施	H29 継続
			進捗	検討	実施	
	H27	実施内容	電子書籍の選書及び図書館システムとの連携調整をした。			
		生じた効果	—			
	H28	実施内容	電子書籍の選書及び図書館システムとクラウド型電子図書館サービスTRC-DLとの連携調整を行い、平成29年1月12日より貸出サービスを開始した。 (平成28年度事業費 図書購入費等5,362千円)			
		生じた効果	非来館者層の利用促進に繋がった。 貸出点数：3,660点			
	デジタル化郷土資料（写真）の公開		計画	H27 検討	H28 実施	H29 継続
			進捗	検討	検討	
	H27	実施内容	平成28年度当初予算において、ADEAC構築委託料予算要求を図ったが、費用対効果から認められなかった。別の方策を検討した。			
		生じた効果	—			
H28	実施内容	デジタル化郷土資料（写真および一宮タイムズ）をTRC-DLにオリジナルコンテンツとして登録することを検討した。				
	生じた効果	—				

(2) 事務の電子化

番号	11【情3.1】	担当部課	総務部情報推進課、財政課、契約課			
取組事項	調達事務・財務会計事務の高度化・効率化【情報化推進計画】					
取組内容	調達事務と会計事務との連携を含めた財務事務全体の最適化を進める。					
効果	調達事務・財務会計事務の高度化・効率化を推進する。 (目標値：あいち電子調達共同システムの利用率 100%)					
実施スケジュール	あいち電子調達共同システムの活用推進			H27	H28	H29
			計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
	H27		実施内容	入札件数 1,018件(工事861件、物品等157件) うち電子入札件数 1,009件(工事861件、物品等148件)		
			生じた効果	利用率 99.1%(工事100.0%、物品等94.3%)		
	H28		実施内容	入札件数 1,168件(工事967件、物品等201件) うち電子入札件数 1,158件(工事967件、物品等191件)		
			生じた効果	利用率 99.1%(工事100.0%、物品等95.0%)		
	財務会計システムにおける電子決裁の運用					
			計画	継続 		
			進捗	継続	継続	
	H27		実施内容	電子決裁は、導入効果を検討した上で事務効率を損なわない範囲で一部の帳票に限り導入し、その運用を継続した。		
			生じた効果	継続運用することで財務会計事務の高度化・効率化を推進できた。		
H28		実施内容	電子決裁は、導入効果を検討した上で事務効率を損なわない範囲で一部の帳票に限り導入し、その運用を継続した。			
		生じた効果	継続運用することで財務会計事務の高度化・効率化を推進できた。			

番号	1 2 【情3.2】	担当部課	総務部行政課、情報推進課			
取組事項	文書事務の高度化・効率化【情報化推進計画】					
取組内容	文書管理システムの利用促進を図るとともに、デジタル複合機の導入を推進して紙文書の電子化を促進する。					
効果	行政情報の適正管理の強化や情報の共有化を図るとともに、印刷用紙の使用数を削減する。 (目標値：文書管理システム内における電子決裁率 95%) (目標値：複合機台数 100台) (目標値：複合機の印刷出力枚数 3,300,000枚)					
実施 スケジュール			H27	H28	H29	
	文書管理システムの 利用促進		計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	文書管理システムの利用促進に努めた。			
		生じた効果	決裁文書総数125,548件のうち、119,035件（電子のみ決裁71,367件、電子・紙併用決裁47,668件）で電子決裁を利用した。（財務会計システム分を除く。） 文書管理システム内における電子決裁率： 94.81%			
	H28	実施内容	文書管理システムの利用促進に努めた。			
		生じた効果	決裁文書総数128,778件のうち、122,002件（電子のみ決裁74,704件、電子・紙併用決裁47,298件）で電子決裁を利用した。（財務会計システム分を除く。） 文書管理システム内における電子決裁率： 94.74%			
	複合機導入の推進		計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	複合機の導入を推進した。今後も、毎年、複合機を導入していく見込みである。			
		生じた効果	新たに2台（生涯学習課（公民館G）12F、情報推進課（SE室））の複合機を導入し、合計89台となった。			
	H28	実施内容	複合機の導入を推進した。今後も、毎年、複合機を導入していく見込みである。			
		生じた効果	新たに2台（生涯学習課（公民館G）12F、情報推進課（SE室））の複合機を導入し、競輪場事業課02Fを撤去したため、合計90台となった			
	印刷出力枚数の削減 の推進		計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
H27	実施内容	紙文書の電子化によりペーパーレス化を進め、印刷出力枚数の削減を推進した。				
	生じた効果	前年度の3,427,040枚と比べると3,337,857枚になり、印刷出力枚数が減少した。				
H28	実施内容	紙文書の電子化によりペーパーレス化を進め、印刷出力枚数の削減を推進した。				
	生じた効果	前年度の3,337,857枚と比べると3,289,185枚になり、印刷出力枚数が減少した。				

番号	13【情3.4】	担当部課	総務部情報推進課			
取組事項	ICTガバナンスの強化とICT投資の効率化【情報化推進計画】 ※ICTガバナンス：ICTを導入・活用するに当たり、経営の視点で目的と戦略を設定し、組織経営上の効果やリスクを評価・測定して、適切なICT活用を実現する仕組みを組織の中に確立すること。					
取組内容	調達や大幅な変更を行う際の基準の統一などにより、調達事務の定型化・効率化と透明性・公平性を図り、また、仮想基盤を利用したシステムの導入によりシステム管理の簡素化と効率化を行う。					
効果	情報システムの調達改善を中心にICT投資の効率化を進め、費用対効果の視点に立った適正な価格で高品質なシステムの導入を進める。 (目標値：仮想化基盤を利用したシステム数 15件)					
実施 スケジュール	情報システム調達ガイドラインの策定		H27	H28	H29	
			計画	実施 → 推進		
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	情報システムの調達に関する基本的な考え方、業者選定、仕様書作成等の事務手順や統一様式を定めた情報システム調達ガイドラインを策定した。			
		生じた効果	情報システム調達ガイドラインの策定により、情報システムの調達事務の定型化・効率化と透明性・公平性を図った。			
	H28	実施内容	情報システム調達ガイドラインが策定され、継続して運用している。			
		生じた効果	情報システムの調達事務の定型化・効率化と透明性・公平性を図った。			
	情報システム管理の簡素化		計画	実施 → 推進		
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	仮想化基盤を整備し、更新を迎えたシステムより順次実施し、12件について仮想化を行った。			
		生じた効果	システムの仮想化を推進することにより効率的なシステム管理を行えた。			
	H28	実施内容	仮想化基盤を整備し、更新を迎えたシステムより順次実施し、21件について仮想化基盤を利用している。			
生じた効果		仮想化基盤の利用を推進することにより効率的なシステム管理を行えた。				

番号	14【情3.5】	担当部課	総務部情報推進課			
取組事項	業務システムの効果的・効率的な運用【情報化推進計画】					
取組内容	個別の業務システムについて、制度改正等の動向を考慮し、業務のプロセスの見直しを進めながら、より効果的・効率的なシステムとして運用する。					
効果	事務効率の向上と部門間の情報共有を図る。					
実施 スケジュール	基幹業務システムの最適化		H27	H28	H29	
			計画			
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	社会保障・税番号制度対応のため、改修業務に着手した。また、個人番号利用事務を実施するためのシステム改修を終えた。			
		生じた効果	改修業務は国のスケジュールどおり進んだ。平成28年度は情報連携に向けた総合テストを行う予定である。			
	H28	実施内容	情報連携に向けた総合テストを終えた。			
	生じた効果	情報連携のための安定的なシステム運用への準備が整った。				

番号	15【情3.6】	担当部課	総務部情報推進課			
取組事項	グリーンICTの推進【情報化推進計画】 ※グリーンICT：省電力や熱対策など環境保護に配慮したICT化の取組					
取組内容	情報機器の調達・使用・廃棄のライフサイクルの中に、消費電力が小さい機器の購入、リサイクルトナーの利用、電子媒体の再利用等、環境に配慮した運用を取り入れる。					
効果	電力消費量や温室効果ガス排出量を削減する。 (目標値：パソコン周辺機器購入に占めるグリーン購入の割合 100%) (目標値：リース情報機器に占めるグリーン調達の割合 100%) (目標値：リサイクルトナーの購入割合 80%) (目標値：リユース・リサイクル率 100%)					
実施スケジュール	パソコン周辺機器のグリーン購入の推進		計画	H27 H28 H29 → 推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	パソコン周辺機器は、すべてグリーン購入法適合品を購入した。			
		生じた効果	環境負荷低減に資する製品の調達を推進できた。			
	H28	実施内容	パソコン周辺機器は、すべてグリーン購入法適合品を購入した。			
		生じた効果	環境負荷低減に資する製品の調達を推進できた。			
	リース等庁内で使用する情報機器のグリーン調達の推進		計画	→ 推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	小・中学校教育用ノートパソコン、プリンタ等周辺機器、ソフトウェアをすべてグリーン調達した。			
		生じた効果	環境負荷低減に資する製品の調達を推進できた。			
	H28	実施内容	小・中学校教育用ノートパソコン、プリンタ等周辺機器、ソフトウェアをすべてグリーン調達した。			
		生じた効果	環境負荷低減に資する製品の調達を推進できた。			
	リサイクルトナーの利用の推進		計画	→ 推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	トナー購入総本数395本に対して、リサイクルトナーは337本購入した。			
		生じた効果	トナー購入総本数に対するリサイクルトナー本数の割合は85.31%であった。 リサイクルトナーの利用を推進できた。			

	H28	実施内容	トナー購入総本数538本に対して、リサイクルトナーは441本購入した。		
		生じた効果	トナー購入総本数に対するリサイクルトナー本数の割合は81.97%であった。 リサイクルトナーの利用を推進できた。		
	情報機器・電子媒体のリユースの推進	計画			
		進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	庁内情報用パソコンは平成27年度も更新がなく、前年度に廃棄パソコンは売却したため、リユース・リサイクルするパソコンはなかった。		
		生じた効果	リユース・リサイクルするパソコンがなかったため効果は生じなかったが、今後もリユース・リサイクルを推進していく見込みである。		
	H28	実施内容	庁内情報用パソコンの更新台数は250台であった。廃棄予定パソコンは60台あり、すべて売却してリサイクルした。		
		生じた効果	リユース・リサイクル率100%を達成できた。		

番号	16【情3.3】	担当部課	総務部情報推進課			
取組事項	庁内インフラの整備と利用促進【情報化推進計画】					
取組内容	ICTを利用して、庁内インフラの環境整備を行い、内部事務処理の効率化・ペーパーレス化・市民サービスの向上を図る。					
効果	職員が災害時や緊急時にどこにいても業務に対応できるようになり、迅速化が図れる。 紙の資料の代わりにタブレット端末を活用することで、効率化・ペーパーレス化が図れる。					
実施スケジュール	庁内情報システムの 庁外利用のための整備		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	幹部職の業務PCをタブレット端末に更新し、自宅でも庁内情報システムにアクセス可能な環境を整備、運用した。管理職の庁外利用は平成28年度を予定。			
	H27	生じた効果	幹部職員が災害時や緊急時にどこにいても業務に対応できるようになり、迅速化が図れた。			
	H28	実施内容	平成28年4月より管理職用タブレットでの庁外利用を開始し、全面的な運用を開始した。			
	H28	生じた効果	管理職が災害時や緊急時にどこにいても業務に対応できるようになり、迅速化が図れた。			
	会議等におけるタブレット端末の導入		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	幹部職、管理職の業務PCをタブレット端末に更新した。また、会議室等での端末利用を可能にするため、庁舎内等の無線LAN整備を行い一部で運用した。			
	H27	生じた効果	幹部会議等でタブレット端末を活用することにより、効率化・ペーパーレス化が図れた。			
	H28	実施内容	平成28年6月より本庁舎以外の施設として各出張所、保健センターでの無線LAN運用を開始し、同11月には消防本部、環境センターに追加整備を行い運用を開始した。			
	H28	生じた効果	庁外施設におけるタブレット端末の利用可能範囲が拡大した。			
	庁内（各庁舎、出先施設）におけるWi-Fi環境の整備		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	幹部職、管理職の業務PCをタブレット端末に更新したことに伴い、庁舎、出張所等の庁内におけるWi-Fi環境の整備を行い一部で運用を開始した。			
	H27	生じた効果	職員の業務効率が向上した。			
H28	実施内容	平成28年6月より庁外施設での利用がスタートし、予定施設全体での運用を開始した。また、同11月には消防本部、環境センターに追加整備を行い運用を開始した。				
H28	生じた効果	職員の業務効率が向上した。				

番号	17【情4.1】	担当部課	企画部人事課、総務部情報推進課			
取組事項	情報セキュリティレベルの向上【情報化推進計画】					
取組内容	市が保有する情報の漏洩や情報に対する侵害により市民の信頼を失うことがないよう、職員が情報セキュリティについて正しい知識と認識を持ち、情報資産の適正な管理・運用を行うための対策を強化する。					
効果	市民に信頼される情報セキュリティを確保する。 (目標値：情報セキュリティ研修受講者数 400人) (目標値：電子媒体等のパソコンへの接続監視 100%)					
実施スケジュール			H27	H28	H29	
	情報セキュリティ研修の実施		計画	推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	職員が情報セキュリティについて正しい知識と認識を持つことができるよう、各種の情報セキュリティ研修を実施した。			
		生じた効果	eラーニング 170人、第1部新入職員研修 128人、社会保障・税番号制度管理職向け研修会 243人など、合計577人が情報セキュリティ研修に参加した。			
	H28	実施内容	職員が情報セキュリティについて正しい知識と認識を持つことができるよう、各種の情報セキュリティ研修を実施した。			
		生じた効果	eラーニング 113人、第1部新入職員研修 128人、マイナンバーによる情報連携研修会 84人など、合計546人が情報セキュリティ研修に参加した。			
	電子媒体の使用削減		計画	推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	情報資産管理ソフトを利用して、許可していない電子媒体等（スマートフォン等も含む）のパソコンへの接続を監視した。			
		生じた効果	接続を発見した場合は、その職員の所属部署の管理職を通じ注意喚起を行ったため、パソコンへ接続する電子媒体の使用削減を図れた。			
	H28	実施内容	情報資産管理ソフトを利用して、許可していない電子媒体等のパソコンへの接続を監視及び無許可の電子媒体等を使用できないよう制御を行なった。			
		生じた効果	接続を発見した場合は、その職員の所属部署の管理職を通じ注意喚起を行ったため、パソコンへ接続する電子媒体の使用削減を図れた。			
	ウイルス対策の強化の実施		計画	推進		
			進捗	推進	推進	
H27	実施内容	ウェブページを表示する前に、ウイルスの侵入をチェックし事前に遮断する「ウイルス侵入事前遮断システム」の運用を継続した。				
	生じた効果	「ウイルス侵入事前遮断システム」の継続運用により、ウイルス対策の強化が図れた。				

	H28	実施内容	ウェブページを表示する前に、ウイルスの侵入をチェックし事前に遮断する「ウイルス侵入事前遮断システム」の運用を継続した。		
		生じた効果	「ウイルス侵入事前遮断システム」の継続運用により、ウイルス対策の強化が図れた。		
	監視カメラ等による物理的セキュリティの強化	計画	推進		
		進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	平成27年9月に電算室に監視カメラを8台設置し、入退室者の監視を開始した。録画映像も長期間保存できるようにしセキュリティを強化した。		
		生じた効果	電算室への監視カメラの導入により物理的セキュリティが強化され、特定個人情報保護対策も図れた。		
H28	実施内容	継続的に入退室者の監視を行い、セキュリティ対策を強化している。			
	生じた効果	物理的セキュリティが強化され、特定個人情報保護対策も図れた。			

番号	18	担当部課	こども部子育て支援課		
取組事項	こども家庭相談システム構築・運用				
取組内容	児童に関する相談記録、対応等経過記録の情報を、住民情報・福祉情報・母子保健情報等と連携した上でデータベースとして一元管理し、関係各課で共有する。また、児童相談に加えて、ひとり親家庭相談・女性相談も本システムの中で構築し、運用する。				
効果	児童虐待の防止・予防、通告時の迅速な対応、児童の見守り強化、ひとり親家庭やDV被害者等への効率的・効果的な支援。				
実施スケジュール	こども家庭相談システム構築・運用	計画	H27	H28	H29
		進捗	—	実施	継続
	H27	実施内容	—		
		生じた効果	—		
	H28	実施内容	こども家庭相談システムを構築し、住民情報・福祉情報・母子保健情報と連携したデータベースによる一元管理を実施した。		
		生じた効果	情報集約、アセスメント、関係課との情報共有を可能にし、児童虐待の防止・予防、児童の見守り、各種相談への効率的な支援体制となった。		

2 財産（資産）の適正管理

番号	19	担当部課	企画部企画政策課		
取組事項	公共施設マネジメントの推進				
取組内容	公共施設の老朽化や将来的な人口減少社会へ対応するため、施設の現況や将来の見通しを踏まえた公共施設等総合管理計画を策定する。				
効果	計画的な管理と更新・統廃合・長寿命化等の取組を推進し、将来的な維持管理経費の軽減・平準化を図る。				
実施スケジュール	公共施設マネジメントの推進		H27	H28	H29
			計画	検討	実施
			進捗	検討	実施
	H27	実施内容	公共施設等の保有状況調査や市民アンケート調査を実施し、今後の公共施設等の維持・管理に係る基本方針を検討した。		
	H27	生じた効果	公共施設等総合管理計画の策定作業が進んだ。		
	H28	実施内容	公共施設等を長期的な視点で長寿命化・更新するため、検討委員会・策定会議等で今後の取り組み方針を検討した。また、市民等の意見を取り入れるために有識者会議を開催した。 ・平成28年度会議の開催：検討委員会1回、策定会議4回、有識者会議1回		
H28	生じた効果	一宮市公共施設等総合管理計画を策定した。			

番号	20	担当部課	環境部施設管理課		
取組事項	焼却施設基幹的設備改良工事の実施				
取組内容	平成10年3月から供用開始したごみ焼却施設について、施設の更新と長寿命化に関するライフサイクルコストの検討の結果、長寿命化工事の実施の方がコスト削減になることから設備改良工事を行う。				
効果	長寿命化工事の実施によりライフサイクルコストの削減を図る。				
実施スケジュール	改良工事の実施		H27	H28	H29
			計画	実施	
			進捗	実施	実施
	H27	実施内容	焼却施設の長寿命化に伴う設備改良工事を実施した。		
	H27	生じた効果	平成29年度の完了に向け、順調に工事を進めることができた。		
	H28	実施内容	焼却施設の長寿命化に伴う設備改良工事を実施した。		
H28	生じた効果	平成29年度の完了に向け、順調に工事を進めることができた。			

番号	21	担当部課	上下水道部経営総務課			
取組事項	上下水道事業アセットマネジメントシステムの導入 ※アセットマネジメント：資産管理、不動産に関わる財務分析と資産評価					
取組内容	アセットマネジメントの考え方に基づいた資産管理システムを導入し、設備の効率的な更新・再構築による長寿命化や事業費の平準化に取り組む。					
効果	最適な維持更新計画により経費負担等の抑制が図れ、安定的に事業を持続することができる。					
実施スケジュール	上下水道事業アセットマネジメントシステムの導入		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	継続	
	H27	実施内容	平成26年度に行ったアセットマネジメントによる資産管理体制構築のための基本方針等の検討結果に基づく、資産管理システムを構築し、平成28年度以降運用する。			
		生じた効果	安定的な事業持続を図った。			
	H28	実施内容	構築した資産管理システムの運用を開始した。			
		生じた効果	将来の施設更新費用など、維持更新計画や財政見通しなどに活用することができた。			

番号	22	担当部課	消防本部総務課			
取組事項	消防力充実強化（消防出張所庁舎建設）事業					
取組内容	消防自動車単独配備である浅井消防出張所及び西成消防出張所を統合し、両出張所の消防自動車2台及び配置転換した救急自動車1台を備えた新庁舎を建設するもの。					
効果	消防職員の増員及び救急自動車の増車を行うことなく、救急自動車未配備地域を補完し、増加傾向にある救急需要に対応する。					
実施スケジュール	消防力充実強化（消防出張所庁舎建設）事業		計画	H27	H28	H29
			進捗	実施	実施	—
	H27	実施内容	浅井・西成消防出張所統合庁舎開所に向けて主に次の事業を行った。 ・建設設計委託（10,368,000円） ・建設用地造成工事（23,558,040円） ・用地購入（74,883,279円）			
		生じた効果	—			
	H28	実施内容	浅井・西成消防出張所統合庁舎開所に向けて主に次の事業を行った。（平成29年4月1日開所） ・建設工事（230,850,000円） ・初度調弁（2,776,679円） ・水道引込負担（872,640円） ・支障物件移転補償（496,432円）			
		生じた効果	—			

3 人材の育成・活用と効率的な組織運営の推進

(1) 職員の能力向上と人材の活用

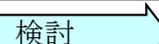
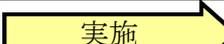
番号	23	担当部課	企画部人事課
取組事項	女性職員のキャリア形成の促進		
取組内容	出産や育児などによりキャリアの中断・時間制約を受けることが多い女性職員を管理職等役職者に登用し、その経験や能力をより発揮できるようにする。		
効果	本市でも女性職員の占める割合が年々増加している中、女性がそれぞれの役割を担い継続して活躍できる職場環境をつくることによって、組織全体の活性化を図る。		

		H27	H28	H29	
実施スケジュール	女性職員の管理職等役職者への登用	計画			
		進捗	推進	推進	
	H27	女性管理職員の人数（割合） 【平成26年度】60名（13.5%） 【平成27年度】70名（15.7%）			
		女性職員が、その経験や能力をより発揮できる環境をつくり、組織の活性化を図った。			
	H28	女性管理職員の人数（割合） 【平成27年度】70名（15.7%） 【平成28年度】80名（17.5%）			
		女性職員が、その経験や能力をより発揮できる環境をつくり、組織の活性化を図った。			

番号	24	担当部課	企画部人事課
取組事項	専門知識や技能をもった人材の登用		
取組内容	事務の種類や性質に応じた専門知識や技能をもった外部人材を採用する。		
効果	民間人材採用の円滑化と公務の能率的運営		

		H27	H28	H29	
実施スケジュール	専門知識や技能をもった人材の登用	計画			
		進捗	検討	検討	
	H27	業務内容、部署及び人数等について検討した。			
		—			
	H28	業務内容、部署及び人数等について検討した。			
		—			

番号	25	担当部課	企画部人事課		
取組事項	庁内プロジェクトの公募				
取組内容	専門性の高い業務、新規事業などを広く公募し、その業務に対する知識、能力及び意欲をもった職員を登用する。				
効果	人材の有効活用、組織の活性化				
実施スケジュール	庁内プロジェクトの公募		H27	H28	H29
			計画	推進 	
			進捗	推進	推進
	H27	実施内容	専門性の高い業務、新規事業などの実施にあたり、広く職員から適任者を募ることが望ましい業務を検討し、募集した。		
		生じた効果	-		
	H28	実施内容	一宮ブランド戦略マネジャー業務を職員公募し、選考・任用を行った。		
生じた効果		-			

番号	26	担当部課	企画部人事課		
取組事項	研修計画等の見直し				
取組内容	第5部研修（特別・専門研修）の中に、職員のニーズを吸い上げたテーマで、階層に限らず受講者を公募する「公募型研修」を導入する。				
効果	職員のニーズに沿った専門テーマを設定することにより、職員の自己目標設定・到達を支援する。また、受講者自らが興味のある研修に意欲的に参加することにより、より高い研修効果が期待できる。				
実施スケジュール	研修計画等の見直し		H27	H28	H29
			計画	検討 	実施 
			進捗	検討	実施
	H27	実施内容	職員の研修ニーズを把握し、平成28年に実施する「公募型研修」のテーマを決定するためアンケート調査を実施した。		
		生じた効果	職員が伸ばしたいと考えている職務能力やスキルの統計的把握ができた。		
	H28	実施内容	アンケート調査の結果、最もニーズが高かった「説明力向上研修」を公募型研修により実施した。		
生じた効果		職員が意欲的に研修に参加し、説明能力やスキルの向上を図ることができた。			

番号	27	担当部課	企画部人事課			
取組事項	国・県等との人事交流及び民間企業への派遣研修の実施					
取組内容	国・県等との人事交流や民間企業に職員を派遣して業務を体験させることにより、職員の意識改革及び資質の向上を目指す。					
効果	国・県の考え方や民間企業の経営感覚・コスト意識等を学ぶことにより、職員の意識改革及び資質の向上並びに組織の活性化を図る。					
実施スケジュール			H27	H28	H29	
	国・県等との人事交流		計画	継続 		
			進捗	継続	継続	
	H27	実施内容	【派遣】国土交通省中部地方整備局 1人 経済産業省 1人 愛知県 3人 【受入】国土交通省中部地方整備局 1人 愛知県 1人 愛知県警 1人			
		生じた効果	国・県との人事交流を行うことにより職員の育成を図った。			
	H28	実施内容	【派遣】国土交通省中部地方整備局 1人 経済産業省 1人 愛知県 4人 名古屋市 1人 【受入】国土交通省中部地方整備局 1人 愛知県 1人 愛知県警 1人			
		生じた効果	国・県との人事交流を行うことにより職員の育成を図った。			
	民間企業への派遣研修の実施		計画	継続 		
			進捗	継続	継続	
	H27	実施内容	・主査級職員 1人を三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱に派遣した。(H27年度は、豊田市始め3市4名の職員も同時期に派遣研修に参加した。) ・主任級職員 1人をいちい信用金庫に派遣した。			
		生じた効果	民間企業において、実務に即した政策形成能力の育成や、顧客サービスの充実を図る接遇能力の向上等を目的とし、各職場で実際の業務を体験することによって、従来とは異なる視点での行政運営や事務・事業改善等への取組に一層の推進を図ることができた。			
	H28	実施内容	・課長補佐級職員 1人を三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱に派遣した。 ・主任級職員 1人をいちい信用金庫に派遣した。 ・主任級職員 1人を豊田合成㈱に派遣した。			
	生じた効果	民間企業において、実務に即した政策形成能力の育成や、顧客サービスの充実を図る接遇能力の向上等を目的とし、各職場で実際の業務を体験することによって、従来とは異なる視点での行政運営や事務・事業改善等への取組に一層の推進を図ることができた。				

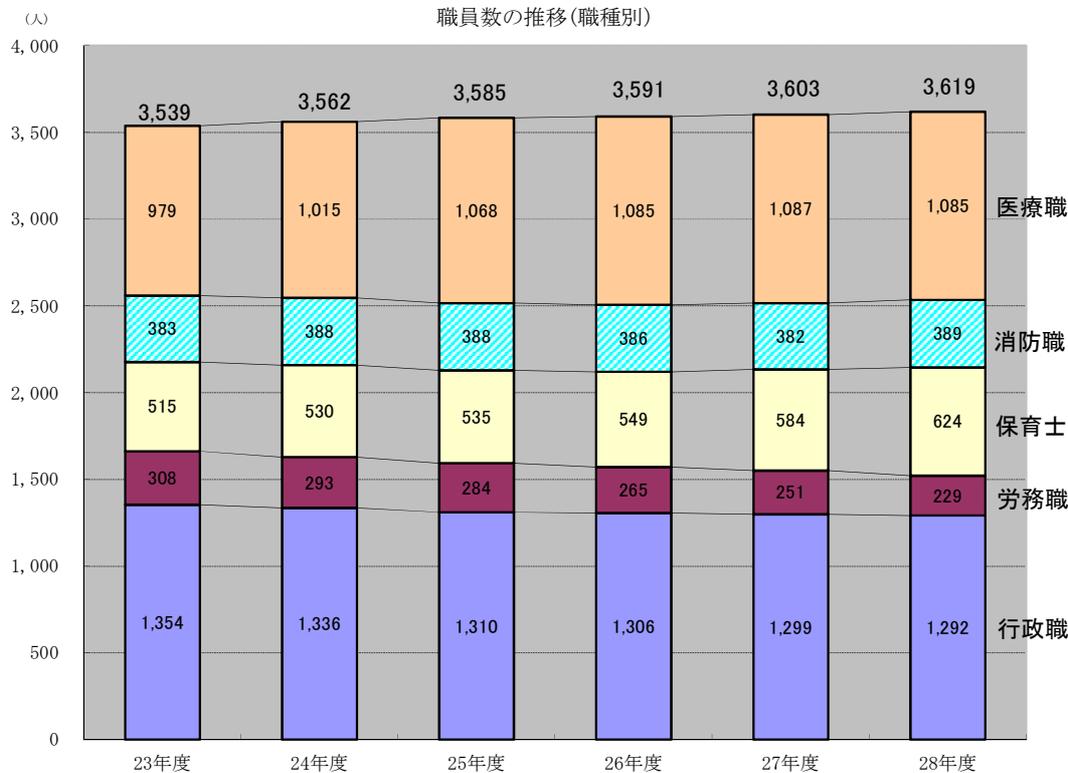
番号	28	担当部課	企画部人事課、総務部情報推進課			
取組事項	テレワークの推進					
取組内容	情報通信技術を活用し、執務室以外での勤務を行う。					
効果	職員の多様で柔軟な働き方を可能とし、業務の効率性の向上やワークライフバランスの推進を図る。 ※ワークライフバランス：仕事と家庭の調和、両立					
実施スケジュール	テレワークの導入		計画	H27 検討	H28 実施	H29 推進
			進捗	検討	実施	
	H27	実施内容	テレワークが実施可能な業務や部署等について検討した。			
	H27	生じた効果	-			
	H28	実施内容	管理職を対象にタブレット端末を配布し、執務室以外でも業務可能な環境を整えた。 育児休業中の職員にタブレット端末を貸与し、所属部署や担当業務等に関する情報を取得できるようにした。			
		生じた効果	庁舎間の移動にかかる時間を節約でき、業務の効率化が図れた。 職員の円滑な職場復帰の手助けとなった。ワーク・ライフ・バランスへの先進的な取り組みとして、一宮市を全国にPRすることができた。			

番号	29【情2.3】	担当部課	総務部情報推進課			
取組事項	ICT活用能力の育成【情報化推進計画】					
取組内容	市職員の事務処理の効率化を目的として、情報システム活用能力向上のための研修を実施する。					
効果	講座・研修を通じてICTの活用能力の向上を推進する。					
実施スケジュール	市職員の情報システム活用研修の実施		計画	推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	市職員向けの研修を次のとおり開催した。 社会保障・税番号制度管理職向け研修等：243人 電子申請・届出システム更新に伴う操作研修：6人			
		生じた効果	研修を通じて市職員の情報システム活用能力の向上を推進できた。			
	H28	実施内容	市職員向けの研修を次のとおり開催した。 情報連携開始への対応についての研修：84人 インターネット分離に伴う操作説明会：175人 など			
		生じた効果	研修を通じて市職員の情報システム活用能力の向上を推進できた。			

番号	30	担当部課	こども部保育課		
取組事項	退職保育士を保育園運営支援に活用				
取組内容	経験の豊富な退職保育士を活用して保育業務のノウハウを伝授するなど、保育園運営の支援を行う。				
効果	保育士の相談役として保育園の管理面や保育の面での心配事の相談を受けて指導を行うことで、保育士の資質の向上につながる。				
実施スケジュール	退職保育士を保育園運営支援に活用		H27	H28	H29
			計画	推進 	継続 
			進捗	推進	
	H27	実施内容	退職保育士3人が園長や保育士を訪問指導し、保育園運営支援を行った。 (平成27年度事業費 賃金1,413千円)		
		生じた効果	経験の浅い園長や保育士の資質が向上した。		
	H28	実施内容	退職保育士3人が園長や保育士を訪問指導し、保育園運営支援を行った。28年度は3人のうち2人を嘱託職員とし活動時間を増やしたことで、より充実した指導を行えるようになった。 (平成28年度事業費 嘱託給及び賃金6,520千円)		
	生じた効果	経験の浅い園長や保育士の資質が向上した。			

(2) 人事制度と組織の見直し

番号	31	担当部課	企画部人事課			
取組事項	適正な職員数の管理					
取組内容	新たな行政ニーズを勘案して、職員数を適正に管理する。					
効果	人件費の適正化を図る。					
実施スケジュール	適正な職員数の管理		計画	H27 → H28 → H29 推進		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	職員数（4月1日現在） （26年度）3,590人 → （27年度）3,603人【差引13人増】			
		生じた効果	新たな行政ニーズに対応するため職員の適正配置を行った。 行政職・・・上下水道部の一部業務委託のため減員 保育士・・・乳児保育の定員拡大に対応するため増員 医療職・・・診療体制充実のため増員 労務職・・・退職者不補充のため減員			
	H28	実施内容	職員数（4月1日現在） （27年度）3,603人 → （28年度）3,619人【差引16人増】			
		生じた効果	新たな行政ニーズに対応するため職員の適正配置を行った。 行政職・・・上下水道部の一部業務委託のため減員 保育士・・・乳児保育の定員拡大に対応するため増員 労務職・・・退職者不補充のため減員			



<年度別職員適正化計画>

年 度		H26	H27	H28	H29	
職種別職員数	行政職	一般会計	1,069人	1,071人	1,073人	1,073人
		企業会計	236人	228人	214人	213人
		計	1,305人	1,299人	1,287人	1,286人
	保育士	一般会計	549人	584人	619人	619人
		企業会計	0人	0人	0人	0人
		計	549人	584人	619人	619人
	消防職	一般会計	386人	382人	390人	388人
		企業会計	0人	0人	0人	0人
		計	386人	382人	390人	388人
	労務職	一般会計	205人	196人	187人	183人
		企業会計	60人	55人	47人	42人
		計	265人	251人	234人	225人
	医療職	一般会計	65人	66人	68人	68人
		企業会計	1,020人	1,021人	1,031人	1,041人
		計	1,085人	1,087人	1,099人	1,109人
合計	一般会計	2,274人	2,299人	2,337人	2,331人	
	企業会計	1,316人	1,304人	1,292人	1,296人	
	計	3,590人	3,603人	3,629人	3,627人	
26年度との比較	一般会計	—	25人	63人	57人	
	企業会計	—	△ 12人	△ 24人	△ 20人	
	計	—	13人	39人	37人	

<各年度4月1日現在実績>

年 度		H26	H27	H28	H29	
職種別職員数	行政職	一般会計	1,069人	1,071人	1,075人	
		企業会計	236人	228人	217人	
		計	1,305人	1,299人	1,292人	
	保育士	一般会計	549人	584人	624人	
		企業会計	0人	0人	0人	
		計	549人	584人	624人	
	消防職	一般会計	386人	382人	389人	
		企業会計	0人	0人	0人	
		計	386人	382人	389人	
	労務職	一般会計	205人	196人	183人	
		企業会計	60人	55人	46人	
		計	265人	251人	229人	
	医療職	一般会計	65人	66人	66人	
		企業会計	1,020人	1,021人	1,019人	
		計	1,085人	1,087人	1,085人	
合計	一般会計	2,274人	2,299人	2,337人		
	企業会計	1,316人	1,304人	1,282人		
	計	3,590人	3,603人	3,619人		
26年度との比較	一般会計	—	25人	63人		
	企業会計	—	△ 12人	△ 34人		
	計	—	13人	29人		

\*行政職、労務職は上下水道部の経営見直しや業務の委託等により減少していますが、保育士、医療職は保育体制の充実、緩和ケア病棟設置のため増加の見込みとなっています。

\*平成26年度の職員合計数は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により教育長が特別職となったため、前ページの数値から-1しています。

番号	32	担当部課	企画部人事課		
取組事項	人事評価結果の昇給等への反映				
取組内容	職員の昇給や期末勤勉手当について、人事評価結果を反映させる。				
効果	組織全体の士気・活力の向上を図る。				
実施 スケジュール	人事評価結果の昇給等への反映		計画	H27 検討 → H28 検討 → H29 実施	
			進捗	検討	検討
	H27	実施内容	平成28年度からの新人事評価制度導入を検討・決定し、平成29年度から昇給等へ反映することとした。		
		生じた効果	—		
	H28	実施内容	人事評価制度を導入した。評価結果を平成29年度の昇給等へ反映することとした。		
		生じた効果	—		

番号	33	担当部課	企画部人事課		
取組事項	昇進試験制度の見直し				
取組内容	課長職選考試験について見直す。				
効果	庁内人事の柔軟化・活性化及び組織全体の士気・活力の向上を図る。				
実施 スケジュール	昇進試験制度の見直し		計画	H27 検討 → H28 実施 → H29 継続	
			進捗	一部実施	継続・検討
	H27	実施内容	試験方法等を見直し、小論文試験を電子で行った。		
		生じた効果	試験のペーパーレス化をすることができた。		
	H28	実施内容	小論文試験を電子で行うとともに、試験制度の見直しを検討した。		
		生じた効果	—		

番号	34	担当部課	企画部人事課、総務部行政課			
取組事項	組織体制の見直し					
取組内容	職員個々が担当する業務やその権限・責任の所在が明確になるよう職制について見直す。また、業務内容の増減や社会情勢の変化に応じて組織・機構の見直しを行い、新たな課題に対応できる仕組みを構築する。					
効果	命令系統や権限・責任の所在を明らかにし、意思決定の迅速化や業務の効率化を図る。また、各部署の所管を明確にした、わかりやすい組織・機構が構築される。					
実施 スケジュール	職制の見直し		H27	H28	H29	
			計画	→ 検討 →	→ 実施 →	→ 推進 →
			進捗	検討	実施	
	H27	実施内容	責任や権限がわかりやすい職制について検討した。			
		生じた効果	—			
	H28	実施内容	副主監を専任課長とするなど補職名の見直しを行った。			
		生じた効果	対外的に職責や権限が明確になった。			
	機構の見直し		H27	H28	H29	
			計画	→ 検討 →	→ 実施 →	→ 推進 →
			進捗	検討	実施	
	H27	実施内容	効率的でわかりやすい組織・機構について検討した。			
		生じた効果	—			
H28	実施内容	福祉こども部を福祉部とこども部に、建設部をまちづくり部と建設部にそれぞれ分割した。また、企画部秘書広報課を秘書課と広報課に分割し、上下水道部下水道建設1課と下水道建設2課を統合し下水道建設課とした。				
	生じた効果	効率的でわかりやすい組織・機構となった。				

番号	35	担当部課	総務部行政課		
取組事項	審議会等の会議の見直し				
取組内容	執行機関の附属機関（審議会）等について会議の形式化や委員の固定化に陥ることがないように、設置と運営に関する指針を策定し、会議を所管する部署は指針の基準に従い見直しを行う。				
効果	類似の会議が開催されることがなくなるとともに、委員が定期的に入れ替わることで会議が活性化する。				
実施スケジュール	審議会等の会議の見直し	計画	H27	H28	H29
		進捗	実施	継続	
	H27	実施内容	各課（公所）において設置する審議会等の会議の設置及び運営に関する基準を明らかにするため、「一宮市審議会等の設置及び運営に関する指針」を制定し、合わせて所管課による点検を行い、既設置の会議の状況を把握した。		
		生じた効果	廃止、任期の長い委員の不再任、委員定数削減、女性委員の割合向上などの方向性を示した。		
	H28	実施内容	指針を推進し、点検を継続した。		
		生じた効果	会議の活性化を図った。		

#### 4 健全な財政運営の推進

##### (1) 歳入の確保

番号	36	担当部課	総務部行政課		
取組事項	ふるさと納税（いちのみや応援寄附金）の活性化				
取組内容	本市と市内事業者が協力し、寄附者に地元特産品等を記念品として贈呈する。寄附者の利便性の向上を図るため、寄附者が自宅にしながら納付できる環境を整備する。				
効果	寄附の促進と本市の魅力を広く発信し、地場産業の活性化を図る。	効果額 (千円)	86,584		
実施スケジュール	ふるさと納税（いちのみや応援寄附金）の活性化	計画	H27	H28	H29
		進捗	実施	推進	
		効果	43,515千円	24,441千円	18,628千円
		うち 単年 効果	43,515千円	24,441千円	18,628千円
	H27	実施内容	12月から、寄附者に対する地元特産品等の贈呈やクレジットカード納付を導入し、寄附の促進とともに市の魅力や地元特産品のPRを図った。 (記念品代5,193,000円、Web手数料198,806円)		
		生じた効果	1,032件、48,907,201円の寄附をいただいた。		
	H28	実施内容	クレジットカード納付を継続するとともに、寄附者に贈呈する地元特産品を増やした。 (記念品代9,078,800円、Web手数料305,790円)		
		生じた効果	1,463件、33,826,010円の寄附をいただいた。		

番号	37	担当部課	総務部財政課					
取組事項	手数料の見直し							
取組内容	消費税の10%への引き上げに併せて、手数料条例にて規定している各種手数料の金額を見直し、受益者負担額の適正化を図る。							
効果	自主財源の確保							
実施 スケジュール	手数料の見直し	計画	H27	—	H28	検討	H29	実施
		進捗	—	—	検討			
	H27	実施内容	—					
	H27	生じた効果	—					
	H28	実施内容	消費税の10%への引き上げの延期に伴い、実施時期を後倒しした。					
		生じた効果	—					

番号	38【情1.6】	担当部課	総務部情報推進課、納税課、会計課			
取組事項	公金納付方法の多様化への対応【情報化推進計画】					
取組内容	電子納付の調査・研究を進める。					
効果	納付機会・手段を拡大し、市民の利便性を向上させる。					
実施 スケジュール	クレジットカード決済の導入		計画	H27 H28 H29 検討		
			進捗	検討	検討	
	H27	実施内容	情報の収集			
		生じた効果	-			
	H28	実施内容	情報の収集			
		生じた効果	-			
	マルチペイメントネットワークを利用した電子決済の導入		計画	検討		
			進捗	検討	検討	
	H27	実施内容	情報の収集			
		生じた効果	-			
	H28	実施内容	情報の収集			
		生じた効果	-			
	交通系ICカードによる支払いの導入		計画	検討	実施	推進
			進捗	検討	実施	
H27	実施内容	決済端末設置場所等の検討				
	生じた効果	-				
H28	実施内容	平成28年10月に決済端末を設置した。				
	生じた効果	市民課、中央子育て支援センター、一宮市観光案内所の3カ所で導入した。また、平成29年度に追加設置する場所を検討した。				

※マルチペイメントネットワーク  
 全国の金融機関や収納機関(地方公共団体、企業等)を通信ネットワークで結び、公共料金等が  
 夜間・休日でも支払えるようにすること。

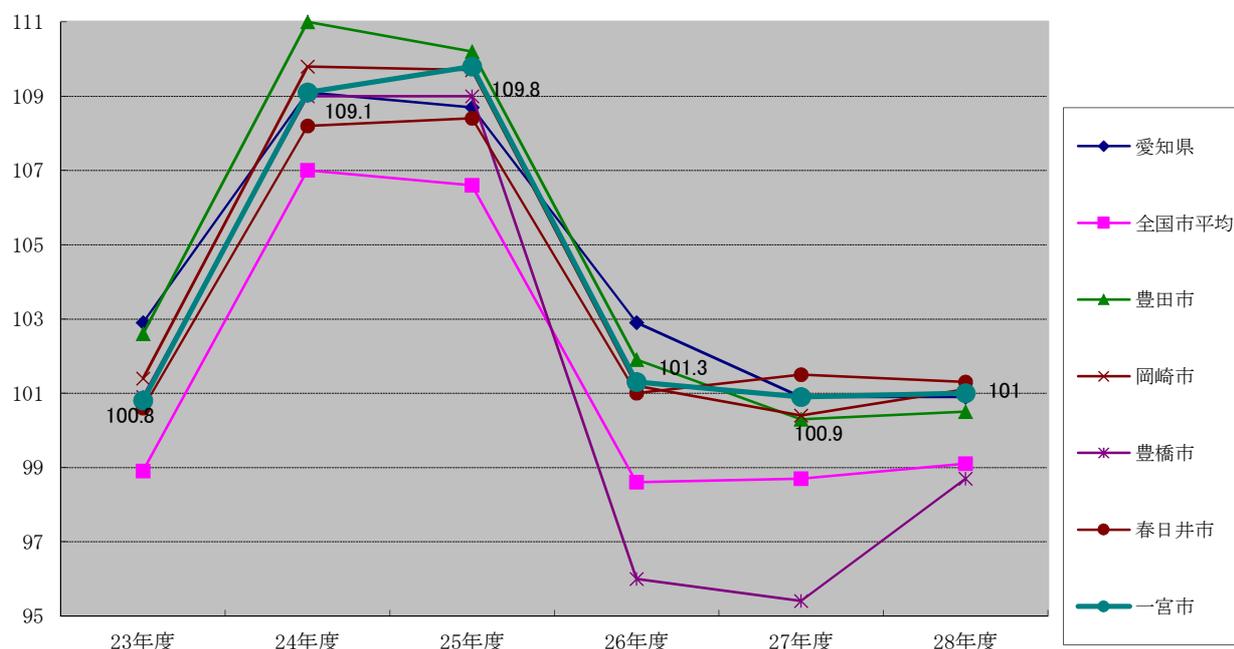
番号	39	担当部課	経済部経済振興課		
取組事項	一般競争入札による行政財産の賃貸				
取組内容	尾張一宮駅前ビル（iビル）のコインロッカーの設置において建物の一部を賃貸とし、貸付先を条件付一般競争入札により募り、収入増を図る。				
効果	自主財源の確保及び経費の節減	効果額 (千円)	1,779		
実施 スケジュール	一般競争入札による 行政財産の賃貸	計画	H27	H28	H29
		進捗	実施	継続	
		効果	410千円	724千円	645千円
		うち 単年 効果	410千円	724千円	645千円
	H27	実施内容	コインロッカーの設置のため建物の一部貸付を実施した。		
		生じた効果	平成27年7月に設置し、貸家料として410千円の収入が発生した。		
	H28	実施内容	引き続き一部貸付を実施した。		
		生じた効果	貸家料として724千円の収入が発生した。		

番号	40	担当部課	教育文化部教育指定管理課		
取組事項	木曽川文化会館ネーミングライツ事業				
取組内容	木曽川文化会館のホールにネーミングライツ（施設命名権）のスポンサーを募集し、収入を得る。				
効果	自主財源の確保	効果額 (千円)	3,240		
実施 スケジュール	木曽川文化会館ホール のネーミングライ ツの導入	計画	H27	H28	H29
		進捗	検討	実施	
		効果	—	1,080千円	2,160千円
		うち 単年 効果	—	1,080千円	2,160千円
	H27	実施内容	平成28年10月にオープンする木曽川文化会館のホールのネーミングライツの協賛企業を募集し、尾西信金ホールと命名する契約（平成28年10月1日～平成33年3月31日の4年6カ月で総額9,720千円）を締結した。		
		生じた効果	—		
	H28	実施内容	平成28年10月に木曽川文化会館を開館し、ホールにネーミングライツ導入事業を実施した。		
		生じた効果	ネーミングライツ料として、半年間で1,080千円の収入が新たに発生した。		

(2) 効率的な執行

番号	4 1	担当部課	企画部人事課		
取組事項	給与の適正管理				
取組内容	国や他の自治体の動向を踏まえながら、給与制度を適正に管理する。				
効果	人件費の適正化を図る。				
実施スケジュール	給与の適正管理	計画	H27	H28	H29
		進捗	継続	継続	
	H27	実施内容	職員の給与について、ラスパイレス指数並びに県・他市の状況を十分考慮し、適正な運用に努めた。		
		生じた効果	ラスパイレス指数(4月1日現在) (26年度)101.3 → (27年度)100.9		
	H28	実施内容	職員の給与について、ラスパイレス指数並びに県・他市の状況を十分考慮し、適正な運用に努めた。		
		生じた効果	ラスパイレス指数(4月1日現在) (27年度)100.9 → (28年度)101.0		

ラスパイレス指数の推移



ラスパイレス指数は、地方公務員と国家公務員の給与水準を、国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴別、経験年数別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示したものです。

番号	42	担当部課	環境部施設管理課、経済部経済振興課、教育文化部総務課、学校給食課、スポーツ課、図書館事務局、病院事業部経営企画課			
取組事項	電気料金の節減					
取組内容	特定規模電気事業者(PPS)から電力供給を受ける。					
効果	一般競争入札により新電力を導入し電気料金の節減を図る。	効果額(千円)	△ 363,945			
実施スケジュール	電気料金の節減		H27	H28	H29	
		計画	実施	継続		
		進捗	実施	継続		
		効果	△ 93,933千円	△135,006千円	△135,006千円	
	うち単年効果	△ 93,933千円	△135,006千円	△135,006千円		
	H27	実施内容	平成27年度分から74施設の電力を入札で調達した。			
		生じた効果	平成26年度と比較し、93,933千円削減できた。			
	H28	実施内容	74施設の電力を入札で調達し、平成27年度よりも有利な条件で契約できたことにより、効果額が増加した。			
		生じた効果	平成26年度と比較し、135,006千円削減できた。			

(3) 民間活力導入の推進

番号	43	担当部課	こども部保育課		
取組事項	市立保育園給食調理業務委託の推進				
取組内容	調理員の退職者を新規職員により補充せず、民間業者に給食調理業務を委託し、調理業務委託園を増やしていく。給食調理専門業者に委託することで、衛生管理や人員管理等に民間のノウハウを期待でき、人件費の削減に加えより質の高い給食を児童に提供する。				
効果	人件費を削減する。 衛生管理や人員管理等に民間のノウハウを活かす。	効果額 (千円)	△ 65,500		
実施 スケジュール	給食調理業務の委託		H27	H28	H29
		計画	推進 		
		進捗	推進	推進	
		効果	△15,366千円	△25,914千円	△24,220千円
	うち 単年 効果	△15,366千円	△10,548千円	1,694千円	
	H27	実施内容	①平成26年度末退職者3人の補充を行わず、新たに1園の委託を追加した。(26年度)31園→(27年度)32園 ②委託を3年契約から3年6カ月の長期継続契約とし経費削減に努めた。		
		生じた効果	①3人分の人件費を削減した。 ②委託料を低く抑えることができた。		
	H28	実施内容	①平成27年度末退職者4人の補充を行わず、新たに2園の委託を追加した。(27年度)32園→(28年度)34園 ②委託を3年契約から3年6カ月の長期継続契約とし経費削減に努めた。		
		生じた効果	①4人分の人件費を削減した。 ②委託料を低く抑えることができた。		

番号	4 4	担当部課	環境部清掃対策課			
取組事項	ごみ収集業務委託の推進					
取組内容	退職者を新規職員により補充せず、ごみ収集業務を部分的に民間事業者へ委託する。					
効果	民間委託により経費を節減する。 (平成29年度までの3年間で見た場合は負担額の方が大きくなりますが、将来に渡り節減効果が期待できる事業です。)		効果額 (千円)	977		
実施 スケジュール	ごみ収集業務の委託		H27	H28	H29	
			計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
			効果	5,225千円	△7,981千円	3,733千円
			うち 単年 効果	5,225千円	△13,206千円	11,714千円
	H27	実施内容	退職者2人(行1:1人、行2:1人)の人員補充を行わず、新たに収集車1台分のごみ収集業務を民間事業者へ委託した。			
	H27	生じた効果	前倒しの委託により人件費減と委託料増の差引が増額(5,225千円増)となるが、将来的には人件費減による削減が見込まれる。			
	H28	実施内容	退職者2人(行1:1人、行2:1人)の人員補充を行わず、委託も前年度に前倒しで行ったため委託なしとした。			
	H28	生じた効果	委託料の増減はなかったが、人件費(13,206千円)が削減できた。			

番号	4 5	担当部課	環境部施設管理課			
取組事項	ごみ焼却施設管理業務委託の推進					
取組内容	退職者を新規職員により補充せず、焼却施設管理業務の一部を民間事業者へ委託する。					
効果	人件費を削減する。 民間事業者が持っている施設管理に関するノウハウを活用し、効率的に業務が行われる。		効果額 (千円)	△ 26,400		
実施 スケジュール	ごみ焼却施設管理業務の委託		H27	H28	H29	
			計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
			効果	△4,442千円	△8,800千円	△13,158千円
			うち 単年 効果	△4,442千円	△4,358千円	△4,358千円
	H27	実施内容	退職者1名を嘱託職員として再雇用した。			
	H27	生じた効果	正規職員の削減により人件費を削減した。			
	H28	実施内容	退職者1名を嘱託職員として再雇用した。			
	H28	生じた効果	正規職員の削減により人件費を削減した。			

番号	46	担当部課	経済部経済振興課			
取組事項	指定管理者制度の導入（尾張一宮駅前ビル）					
取組内容	平成28年4月から尾張一宮駅前ビル（iビル）の管理運営を市の直営から指定管理者制度を導入し、民間事業者により行う。					
効果	指定管理方式の導入により質の高いサービスの提供が期待でき、民間のノウハウの導入を進めることができる。	効果額 (千円)	△ 56,290			
実施 スケジュール	指定管理者制度の導入（尾張一宮駅前ビル）		H27	H28	H29	
			計画	検討 → 実施 → 継続		
			進捗	検討	実施	
			効果	—	△28,145千円	△28,145千円
			うち 単年 効果	—	△28,145千円	—
	H27	実施内容	平成28年度から指定管理者制度を導入するため、指定管理者を公募し、選定委員会の審査により一社が決定された。			
		生じた効果	—			
	H28	実施内容	決定した指定管理者が平成28年4月から管理運営を開始した。			
		生じた効果	指定管理方式の導入により、質の高いサービスの提供と民間のノウハウの導入を進めることができた。			

番号	47	担当部課	教育文化部学校給食課			
取組事項	学校給食調理業務委託の推進					
取組内容	調理員の退職者を新規職員により補充せず、嘱託職員と臨時職員で対応したうえで、学校給食調理業務を民間事業者に委託する。					
効果	人件費を削減する。 衛生管理や人員管理等に民間のノウハウを活かす。	効果額 (千円)	△ 49,560			
実施 スケジュール	学校給食調理業務の委託		H27	H28	H29	
			計画	推進 →		
			進捗	推進	推進	
			効果	△10,116千円	△18,239千円	△21,205千円
			うち 単年 効果	△10,116千円	△8,123千円	△2,966千円
	H27	実施内容	退職者2人の人員補充としてパート職員4人を採用した。新規の委託はなかった。			
		生じた効果	正規職員の削減により人件費を削減した。			
	H28	実施内容	退職者3人の人員補充をせず、新規の委託を1校行った。			
		生じた効果	正規職員の削減により人件費を削減した。			

(4) 企業会計の経営健全化

番号	48	担当部課	病院事業部経営企画課			
取組事項	「新公立病院改革ガイドライン」に基づく病院事業改革					
取組内容	<p>公立病院改革の更なる推進を目的として、総務省から平成27年3月に「新公立病院改革ガイドライン」が公表された。この内容は「経営効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」の視点に立った改革を進めることとなっており、これに基づき以下の事業を進める。</p> <p>①市民病院新病棟建設事業（市民病院）                  ②研修医の受入れに伴う地域医療における人材の確保・育成（市民病院）                  ③病院経営・医事管理業務部門の強化（病院事業部）                  →プロパー専門職員（病院事務職員）の採用</p>					
効果	<p>①緩和ケア病棟、ハイブリッド手術室及び救急部門等を整備し、地域の中核的な医療機関として質の高い医療を提供する。                  ②地域医療に関心を持つ医師を増やすとともに、優れた医療人の育成を目指す。                  ③病院事業部において医療専門の事務職員を採用することで、即戦力としての専門知識を活かすことができる。</p>					
実施 スケジュール	市民病院新病棟建設事業		計画	H27 → H28 → H29		
			進捗	実施	実施	
	H27	実施内容	新病棟建設に向けて設計業務委託を実施した。 19,800,000円			
		生じた効果	平成30年度完成を目標とした新病棟建設へ向けて事業を開始した。			
	H28	実施内容	新病棟建設工事に着手した。 127,081,600円			
		生じた効果	平成30年度完成に向けて、着実に事業の推進を図ることができた。			
	研修医の採用		計画	H27 → H28 → H29		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	研修医17人を採用した。			
		生じた効果	尾張西部医療圏の基幹病院として充実した設備・指導のもと、研修医は臨床研修に専念でき、その資質の向上が図られたことにより、地域の人々にもより良い医療を提供することができた。			
H28	実施内容	研修医14人を採用した。				
	生じた効果	尾張西部医療圏の基幹病院として充実した設備・指導のもと、研修医は臨床研修に専念でき、その資質の向上が図られたことにより、地域の人々にもより良い医療を提供することができた。				

	病院事務職員の採用		計画			
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	平成27年4月に病院事務職員 1 人を採用した。			
		生じた効果	医療専門の事務職員11人を中心に診療報酬内容等の分析・検討、及び地域医療連携業務の強化を図ることができた。			
	H28	実施内容	次年度以降の採用に向けて、応募条件や人数等について検討した。			
		生じた効果	—			

番号	49	担当部課	上下水道部経営総務課
取組事項	中期財政計画に基づく経営基盤の強化		
取組内容	厳しい経営状況の中で、今後も持続可能な事業経営を行うため、中期財政計画を策定し、徹底した効率化・経営健全化など、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む。		
効果	経営戦略に基づく企業経営への転換が図られる。		
実施スケジュール	中期財政計画の策定	計画	H27 検討 → H28 実施 → H29 推進
		進捗	H27 検討 H28 検討 H29
	H27	実施内容	収支計画の策定を開始した。
	H27	生じた効果	—
	H28	実施内容	独自の経営戦略から、総務省の経営戦略策定通知に沿った内容にするため、検討期間を延伸した。
	H28	生じた効果	—

番号	50	担当部課	上下水道部営業課
取組事項	水道料金等の徴収業務の民間委託		
取組内容	平成25年度からの3年間、水道料金等の検針と窓口業務について民間委託しているが、その委託内容に滞納整理業務と電算システムの開発・運用業務等を加えて、平成26年度に公募型プロポーザルを実施し、平成28年度から新たに民間委託を開始する。		
効果	業務の効率化と利便性の向上及び経費の削減を図る。	効果額 (千円)	△ 84,916
実施スケジュール	水道料金等徴収業務の委託	計画	H27 検討 → H28 実施 → H29 継続
		進捗	H27 検討 H28 実施 H29
		効果	H27 — H28 △42,458千円 H29 △42,458千円
		うち単年効果	H27 — H28 △42,458千円 H29 —
	H27	実施内容	平成27年3月に「水道料金等徴収業務委託」の契約を締結し、平成28年4月からの委託実施に向けて、料金システム設計開発の打合せや実務作業の引継ぎを行った。
	H27	生じた効果	—
H28	実施内容	平成28年4月からこれまでの委託内容に加え、滞納整理業務や電算システムの開発・運用業務等の民間委託を開始した。	
H28	生じた効果	委託業務の追加により委託料は増加したものの、人件費等の減額により全体として経費の削減ができた。また、窓口業務等との連携が図られ、市民サービスの向上につながった。	

(5) その他

番号	5 1	担当部課	総務部財政課			
取組事項	財政調整基金現在高の水準維持					
取組内容	財源の年度間不均衡の調整や災害等への緊急的な財政出動に備え、財政調整基金年度末現在高が標準財政規模の5.0%以上となるよう維持する。 ※財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための基金					
効果	健全で安定的な財政運営					
実施スケジュール	財政調整基金を標準財政規模5.0%以上に維持		H27	H28	H29	
			計画	推進 		
			進捗	推進	推進	
	H27	実施内容	<p>当初予算2億円、6月補正予算2億円の計4億円を取崩す予算編成をしたが、他の財源で調整し、取崩しが不要となったことから、12月補正予算にて、△4億円の補正を行い財政調整基金繰入金は皆減となった。また、3月補正予算において、新たに8億円を積み立てた。</p> <p>なお、財政調整基金年度末現在高の標準財政規模の5.0%以上は愛知県が財政状況の調査基準としている。</p>			
	H27	生じた効果	<p>◎平成27年度末現在高(a)/標準財政規模(b)*100 (a4,936,615千円)/(b70,314,274千円)*100=7.0%</p> <p>この結果、平成27年度末財政調整基金残高対標準財政規模の比率5.0%以上の水準を維持できた。また、新規積立により、平成26年度末の同比率6.0%に比べ1.0%上昇し、今後の財政支出に備えることができた。</p>			
	H28	実施内容	<p>当初予算5億円、9月補正予算16億円の計21億円を取崩す予算編成をしたが、他の財源による調整や決算見込みを踏まえて、12月補正予算で12億円、3月補正予算で4億円の積立てができたことにより、財政調整基金繰入金は当初予算と同額の5億円に留まった。</p>			
H28	生じた効果	<p>◎平成28年度末現在高(a)/標準財政規模(b)*100 (a4,441,039千円)/(b70,719,252千円)*100=6.3%</p> <p>この結果、前年度の比率を下回ったものの、愛知県の財政状況の調査基準である5.0%以上の水準を維持できた。</p>				

5 市民等との協働による地域力の活用

番号	52	担当部課	企画部地域ふれあい課																																																																																					
取組事項	地域づくり協議会の設置と補助金の見直し																																																																																							
取組内容	連区に地域づくり協議会を設置し、事業ごとに各課から縦割りで交付している補助金等を一括交付して地域の裁量で使い道を決めることができるようにすることで、地域の特性を活かした事業計画を実現する。(円滑な事業実施をサポート)																																																																																							
効果	地域の実情に合った、特性を活かした活動が計画され、充実した活動が行われる。																																																																																							
実施スケジュール			H27	H28	H29																																																																																			
	地域づくり協議会の設置と補助金の見直し	計画	→ 推進 →		→ 継続 →																																																																																			
		進捗	推進	推進																																																																																				
	実施内容	平成27年4月に神山、大和町、富士、の3連区で地域づくり協議会を設置した。																																																																																						
H27 生じた効果	<p>地域づくり協議会を設置した連区内の各団体が一堂に会することにより、地域の特性を活かした事業が計画される。</p> <p>・開催回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連区</th> <th>総会</th> <th>役員会</th> <th>部会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>宮西</td><td>1</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>貴船</td><td>2</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr><td>神山</td><td>3</td><td>2</td><td>54</td></tr> <tr><td>向山</td><td>1</td><td>3</td><td>37</td></tr> <tr><td>富士</td><td>1</td><td>7</td><td>18</td></tr> <tr><td>葉栗</td><td>2</td><td>5</td><td>24</td></tr> <tr><td>西成</td><td>1</td><td>1</td><td>52</td></tr> <tr><td>浅井町</td><td>1</td><td>7</td><td>10</td></tr> <tr><td>北方町</td><td>1</td><td>6</td><td>52</td></tr> <tr><td>大和町</td><td>1</td><td>4</td><td>28</td></tr> <tr><td>今伊勢町</td><td>1</td><td>6</td><td>49</td></tr> <tr><td>奥町</td><td>2</td><td>6</td><td>32</td></tr> <tr><td>萩原町</td><td>1</td><td>6</td><td>30</td></tr> <tr><td>千秋町</td><td>1</td><td>4</td><td>16</td></tr> <tr><td>起</td><td>1</td><td>3</td><td>7</td></tr> <tr><td>小信中島</td><td>1</td><td>5</td><td>16</td></tr> <tr><td>大徳</td><td>2</td><td>6</td><td>22</td></tr> <tr><td>朝日</td><td>2</td><td>9</td><td>29</td></tr> <tr><td>開明</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td></tr> <tr><td>木曾川町</td><td>1</td><td>7</td><td>19</td></tr> </tbody> </table>				連区	総会	役員会	部会	宮西	1	2	6	貴船	2	4	3	神山	3	2	54	向山	1	3	37	富士	1	7	18	葉栗	2	5	24	西成	1	1	52	浅井町	1	7	10	北方町	1	6	52	大和町	1	4	28	今伊勢町	1	6	49	奥町	2	6	32	萩原町	1	6	30	千秋町	1	4	16	起	1	3	7	小信中島	1	5	16	大徳	2	6	22	朝日	2	9	29	開明	1	2	4	木曾川町	1	7	19
連区	総会	役員会	部会																																																																																					
宮西	1	2	6																																																																																					
貴船	2	4	3																																																																																					
神山	3	2	54																																																																																					
向山	1	3	37																																																																																					
富士	1	7	18																																																																																					
葉栗	2	5	24																																																																																					
西成	1	1	52																																																																																					
浅井町	1	7	10																																																																																					
北方町	1	6	52																																																																																					
大和町	1	4	28																																																																																					
今伊勢町	1	6	49																																																																																					
奥町	2	6	32																																																																																					
萩原町	1	6	30																																																																																					
千秋町	1	4	16																																																																																					
起	1	3	7																																																																																					
小信中島	1	5	16																																																																																					
大徳	2	6	22																																																																																					
朝日	2	9	29																																																																																					
開明	1	2	4																																																																																					
木曾川町	1	7	19																																																																																					

実 施 スケジュール	H28	実施内容	平成28年4月に三条連区で地域づくり協議会を設置した。また、設置済み21連区で「一宮市地域づくり協議会連絡会」を発足した。																																																																																												
		生じた効果	<p>地域づくり協議会を設置した連区内の各団体が一堂に会することにより、地域の特性を活かした事業が計画される。また、「一宮市地域づくり協議会連絡会」の発足により、連区間の情報交換が活発となり、更なる事業推進に繋がった。</p> <p>・開催回数(各連区地域づくり協議会)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>連区</th> <th>総会</th> <th>役員会</th> <th>部会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>宮西</td><td>1</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>貴船</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>神山</td><td>1</td><td>15</td><td>61</td></tr> <tr><td>向山</td><td>1</td><td>2</td><td>38</td></tr> <tr><td>富士</td><td>1</td><td>5</td><td>26</td></tr> <tr><td>葉栗</td><td>2</td><td>5</td><td>30</td></tr> <tr><td>西成</td><td>1</td><td>1</td><td>51</td></tr> <tr><td>浅井町</td><td>1</td><td>10</td><td>12</td></tr> <tr><td>北方町</td><td>1</td><td>7</td><td>52</td></tr> <tr><td>大和町</td><td>1</td><td>5</td><td>33</td></tr> <tr><td>今伊勢町</td><td>1</td><td>6</td><td>41</td></tr> <tr><td>奥町</td><td>2</td><td>6</td><td>27</td></tr> <tr><td>萩原町</td><td>1</td><td>6</td><td>24</td></tr> <tr><td>千秋町</td><td>1</td><td>5</td><td>13</td></tr> <tr><td>起</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>小信中島</td><td>1</td><td>5</td><td>16</td></tr> <tr><td>三条</td><td>1</td><td>7</td><td>17</td></tr> <tr><td>大徳</td><td>2</td><td>5</td><td>20</td></tr> <tr><td>朝日</td><td>2</td><td>9</td><td>25</td></tr> <tr><td>開明</td><td>1</td><td>4</td><td>8</td></tr> <tr><td>木曾川町</td><td>1</td><td>7</td><td>39</td></tr> </tbody> </table> <p>・開催回数(地域づくり協議会連絡会)</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>総会</td><td>1回</td></tr> <tr><td>役員会</td><td>4回</td></tr> <tr><td>情報交換会</td><td>4回</td></tr> </table>	連区	総会	役員会	部会	宮西	1	2	6	貴船	2	4	4	神山	1	15	61	向山	1	2	38	富士	1	5	26	葉栗	2	5	30	西成	1	1	51	浅井町	1	10	12	北方町	1	7	52	大和町	1	5	33	今伊勢町	1	6	41	奥町	2	6	27	萩原町	1	6	24	千秋町	1	5	13	起	1	1	8	小信中島	1	5	16	三条	1	7	17	大徳	2	5	20	朝日	2	9	25	開明	1	4	8	木曾川町	1	7	39	総会	1回	役員会	4回
連区	総会	役員会	部会																																																																																												
宮西	1	2	6																																																																																												
貴船	2	4	4																																																																																												
神山	1	15	61																																																																																												
向山	1	2	38																																																																																												
富士	1	5	26																																																																																												
葉栗	2	5	30																																																																																												
西成	1	1	51																																																																																												
浅井町	1	10	12																																																																																												
北方町	1	7	52																																																																																												
大和町	1	5	33																																																																																												
今伊勢町	1	6	41																																																																																												
奥町	2	6	27																																																																																												
萩原町	1	6	24																																																																																												
千秋町	1	5	13																																																																																												
起	1	1	8																																																																																												
小信中島	1	5	16																																																																																												
三条	1	7	17																																																																																												
大徳	2	5	20																																																																																												
朝日	2	9	25																																																																																												
開明	1	4	8																																																																																												
木曾川町	1	7	39																																																																																												
総会	1回																																																																																														
役員会	4回																																																																																														
情報交換会	4回																																																																																														

番号	53	担当部課	企画部地域ふれあい課交通政策室
取組事項	iーバス・生活交通バス運行事業の見直し		
取組内容	運行コースや運行時間などの運行内容の変更を行う。 一宮市公共交通計画による公共交通ネットワークの構築を行う。		
効果	住民がバスをより便利に使うことができる。		

		H27	H28	H29																							
運行内容の変更	計画	実施 	推進 																								
	進捗	実施	推進																								
実施スケジュール	H27 実施内容	市と地域で協議し、平成27年10月より iーバス尾西北コース、iーバス尾西南コース、iーバス木曾川・北方コースの運行概要を見直した。																									
	H27 生じた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>iーバス尾西北コースの運行時間を65分から60分に変更し、iーバス一宮コースへ乗り継ぎが可能となり一宮駅・一宮市民病院への移動が便利になった。また、循環運行をやめ往復運行にしたため乗車時間が短縮された。</li> <li>iーバス尾西南コースの運行時間を80分から90分に変更し、萩原駅で名鉄尾西線への乗り継ぎを便利にし、尾西庁舎で一部の便にて尾西北コースと乗り継ぎを可能とした。</li> <li>iーバス木曾川・北方コースの運行ルートを見直し、大型ショッピングセンター付近、JR木曾川駅に停留所を設置し利便性を向上させた。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="4">iーバス利用者数比較</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H26.10-H27.3</th> <th>H27.10-H28.3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一宮コース</td> <td style="text-align: center;">42,112</td> <td style="text-align: center;">41,400</td> <td style="text-align: center;">△ 712</td> </tr> <tr> <td>尾西北コース</td> <td style="text-align: center;">11,823</td> <td style="text-align: center;">8,304</td> <td style="text-align: center;">△ 3,519</td> </tr> <tr> <td>尾西南コース</td> <td style="text-align: center;">12,178</td> <td style="text-align: center;">15,484</td> <td style="text-align: center;">3,306</td> </tr> <tr> <td>木曾川・北方コース</td> <td style="text-align: center;">9,305</td> <td style="text-align: center;">8,980</td> <td style="text-align: center;">△ 325</td> </tr> </tbody> </table>			iーバス利用者数比較					H26.10-H27.3	H27.10-H28.3	増減	一宮コース	42,112	41,400	△ 712	尾西北コース	11,823	8,304	△ 3,519	尾西南コース	12,178	15,484	3,306	木曾川・北方コース	9,305	8,980
iーバス利用者数比較																											
	H26.10-H27.3	H27.10-H28.3	増減																								
一宮コース	42,112	41,400	△ 712																								
尾西北コース	11,823	8,304	△ 3,519																								
尾西南コース	12,178	15,484	3,306																								
木曾川・北方コース	9,305	8,980	△ 325																								
H28 実施内容	平成28年8月から iーバス一宮コース、木曾川・北方コースを木曾川庁舎敷地内に乗り入れた。																										
H28 生じた効果	木曾川庁舎（木曾川文化会館）利用者の利便性・安全性が向上した。																										

公共交通ネットワークの構築		計画	実施	推進	
		進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	①地域公共交通を取り巻く環境が変わってきたことに対応するため、②地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律に基づく地域公共交通網形成計画として位置づけるため、計画を改定した。		
		生じた効果	①公共交通ネットワークにおける「タクシー」の位置づけを明確にできた。 ②計画改定時に具体的で数値化された目標値を設定した。目標として数値を掲げたことにより、現状がはっきり認識でき、目標に向かっての達成度も明確になるとともに、共通認識のもと取り組みを推進できるようになった。		
	H28	実施内容	公共交通利用促進策の1つとして、公共交通の利用がしづらい地域に停留所を設置して最寄りのバス停と結ぶ予約制の乗合タクシー（i-タクシー）の試行運行を実施した。		
		生じた効果	公共交通が利用しづらい地域にi-タクシー停留所を33カ所設置し、616人の利用があった。		

番号	54	担当部課	福祉部高年福祉課		
取組事項	地域住民、NPO等との協働による生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築				
取組内容	地域の実情を把握し、その課題に応じて、地域住民、ボランティア、民間企業、協同組合等の多様な主体が運営する通いの場や軽微な生活支援を用意することにより、高齢者の在宅での生活を支えるサービス基盤整備をする。				
効果	高齢者の在宅での生活を支えるサービス基盤を整備することにより、高齢者の多様なニーズに応え、在宅生活の安心確保や地域とのつながりの維持を図る。また、高齢者自身をはじめ、地域住民・NPO等の多様な主体が運営する通いの場や活動範囲を拡大することで長期的、かつ継続的な介護予防につなげ、介護・医療などの費用の効率化を図る。				
実施スケジュール			H27	H28	H29
	生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築		計画 検討	実施	推進
			進捗 検討	実施	
	H27	実施内容	生活支援体制整備事業準備委員会を2回開催し、関係者間の情報共有を行った。生活支援コーディネーターによる地域別プロフィールの作成、保健師による地区把握を行った他、5連区で事業説明に着手し、ニーズ把握を行った。		
	H27	生じた効果	連区での協議の際、既存の社会資源である介護保険事業所等から協力の意向が示されたため、「おでかけ広場づくり推進事業」（目標：50カ所）の立案に至り、平成28年度に予算化した。また、ボランティアの養成・登録と派遣の仕組みづくりについても予算化した。		
	H28	実施内容	社会福祉協議会と各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置し、市全体及び連区ごとに地域の課題を抽出し、必要な取り組みを地域住民やNPO等と検討した。また生活支援体制整備推進委員会を開催し、関係者間の検討を行った。ちょこっと助け合いボランティア養成研修を3回開催し、33名のボランティアを養成した。おでかけ広場推進事業を実施し、52カ所のおでかけ広場を認定した。		
H28	生じた効果	地域住民やNPO等との協働による高齢者の通いの場所づくりを推進することができ、リハビリ職と連携した介護予防教室の実施につなげることができた事例もあった。30名程度のボランティア登録が見込まれ、このボランティアを派遣して、住民同士で助け合いをするちょこボラサービスの仕組みを確立し、29年度からの実施につなげた。おでかけ広場により、高齢者の居場所づくり・地域交流を促進することができた。次年度は合計100カ所の認定を目標とする。			

6 その他

番号	55	担当部課	企画部企画政策課			
取組事項	地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定					
取組内容	国の長期ビジョン及び総合戦略に基づき、市独自の将来の人口目標（地方人口ビジョン）と、まち・ひと・しごと創生に関する目標や施策に関する基本的方向を定めた地方版総合戦略を策定する。					
効果	人口減少克服と地方創生をあわせて行う地方版総合戦略により、将来にわたって活力ある市を維持する。					
実施スケジュール	地方人口ビジョンと地方版総合戦略の策定		H27	H28	H29	
			計画	実施	推進	
			進捗	実施	推進	
	H27	実施内容	市民へのアンケートや市民からの事業提案を受けながら、市幹部による「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」と有識者会議である「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」による検討を経て人口ビジョンと総合戦略で構成される「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。			
		生じた効果	人口減少克服と地方創生をあわせて行う地方版総合戦略が策定された。			
	H28	実施内容	「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載した事業を進め、進捗状況や重要業績評価指標（KPI）を、有識者会議である「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」に報告した。 ・平成28年度開催回数 1回			
		生じた効果	専門的視点による幅広い意見を聴取することができ、地方創生に関する事業の推進が図られた。			

#### IV 取組の追加について

平成 28 年度の実施状況の取りまとめと合わせて、新たに掲載すべき取組の確認を行い、以下の 6 事業を追加することとしました。

- (追 1) 聴覚・言語機能障害者に対応した 119 番通報システムの導入  
(消防本部通信指令課)
- (追 2) 事業所税の経過措置減免の延長及び減免割合の逡減(総務部市民税課)
- (追 3) 国の浄化槽設置整備事業の適用選択の見直し(環境部浄化課)
- (追 4) 歩道橋ネーミングライツ事業(建設部建設総務課)
- (追 5) 予算編成手法の見直し(総務部財政課)
- (追 6) 予算編成における K P I (重要業績評価指標)の導入及び予算編成過程の公開(見える化) (総務部財政課)
- (追 7) 中央看護専門学校の開校(市民健康部中央看護専門学校事務局)
- (追 8) 市政ワークショップによる市民参加制度の導入(企画部企画政策課)

追加する取組については、次ページにプランを掲載しています。

## 1 デジタル市役所の推進

### (1) 市民サービスの向上

番号	追1	担当部課	消防本部通信指令課		
取組事項	聴覚・言語機能障害者に対応した119番通報システムの導入				
取組内容	会話に不自由な聴覚・言語機能障害者を対象に、スマートフォン等のGPS測位機能を利用し、音声によらない円滑な119番通報を可能にするシステムを整備する。また、同システムを導入する他の消防機関と相互接続し、災害場所を管轄する消防機関に通報されるものとする。				
効果	聴覚・言語機能障害者の速やかな119番通報が可能となり、安心・安全及び利便性が向上する。				
実施スケジュール			H27	H28	H29
	聴覚・言語機能障害者に対応した119番通報システムの導入	計画	—	—	検討 
		進捗	—	—	
	H28	実施内容	—		
		生じた効果	—		

## 4 健全な財政運営の推進

### (1) 歳入の確保

番号	追2	担当部課	総務部市民税課		
取組事項	事業所税の経過措置減免の延長及び減免割合の通減				
取組内容	リーマンショック後の不況の中で新たに生ずる税負担を軽減するため、経過措置として減免を実施しているが、この制度の適用期間の延長・減免割合について、中長期的な自主財源の確保を見据え、慎重に検討し、平成29年度に必要な例規整備を行う。				
効果	より公平・公正な課税の実現するとともに、都市環境の整備・改善といった行政ニーズに対応するため、自主財源の確保に資する。				
実施スケジュール			H27	H28	H29
	事業所税の経過措置減免の延長及び減免割合の通減	計画	—	検討 	実施 
		進捗	—	検討	
	H28	実施内容	通減を想定した場合のシミュレーション、他市の状況の把握などにより、検討を進める。		
		生じた効果	—		

番号	追3	担当部課	環境部浄化課		
取組事項	国の浄化槽設置整備事業の適用選択の見直し				
取組内容	一宮市浄化槽設置補助金制度は、国の交付金と県の補助金を特定財源としており、国の交付金は従来の通常事業の場合は交付率が1/3であるが、平成28年度から新たに加わった環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業を選択した場合は交付率が1/2となるため、平成28年度より新制度を利用した。				
効果	交付金の交付率が1/3から1/2になることにより、歳入がより多く確保できる。	効果額 (千円)	5,400		
実施 スケジュール	国の浄化槽設置整備事業の適用選択の見直し	計画	H27	H28	H29
		進捗	—	実施	継続
		効果	—	1,718千円	3,682千円
		うち 単年 効果	—	1,718千円	3,682千円
	H28	実施内容	環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業を利用して補助金を申請した。		
	H28	生じた効果	交付率1/2 : 5,153,000円 交付率1/3 : 3,435,000円 交付金が1,718,000円増加した。		

番号	追4 (40追加分)	担当部課	建設部建設総務課		
取組事項	歩道橋ネーミングライツ事業				
取組内容	一宮市が管理する歩道橋を有効活用し、歩道橋に愛称を付けることができる権利(ネーミングライツ)のスポンサーを募集することにより、新たな自主財源を確保し、持続可能な道路施設の維持管理に役立てる。				
効果	自主財源の確保	効果額 (千円)	400		
実施 スケジュール	歩道橋ネーミングライツ事業	計画	H27	H28	H29
		進捗	—	検討	実施
		効果	—	—	400千円
		うち 単年 効果	—	—	400千円
	H28	実施内容	市が管理する横断歩道橋を対象に、ネーミングライツ事業の導入にあたり、ガイドラインを作成し、募集要項、選定委員会設置要綱、契約書等の案を検討した。		
	H28	生じた効果	—		

(2) 効率的な執行

番号	追5	担当部課	総務部財政課
取組事項	予算編成手法の見直し		
取組内容	合併に伴う普通交付税の算定の特例による増額分が平成28年度から段階的に縮減され、平成33年度に皆減となるなど歳入が減少する。こうした状況を踏まえ、見込まれる歳入に見合った額を各部局に配分し、各部局が自ら事務・事業の見直しを行うことで適正な予算規模を実現できるよう、予算編成手法の見直しを行う。		
効果	限られた財源の中で、各部局による事務・事業の抜本的な見直しや工夫などの主体的な取組みを促すことにより、部局内の調整機能も同時に強化され、行政サービスの水準を低下させることなく予算の圧縮に努めることができ、将来に向けた財政の健全な運営に寄与する。		

		H27	H28	H29	
実施 スケジュール	予算編成手法の見直し	計画	—		
		進捗	—	実施	
	H28	実施内容	平成28年度当初予算まで実施していた、一部の経常経費についてのみカットして各部局に配分する方式を見直した。具体的には、歳入が見込まれる一般財源に見合うよう削減率を設定して各部局に配分し、配分を超える予算要求については市全体で優先度の高い事業を財源の範囲内で予算化した。また、例年補正予算で対応していたものを含め、年間予算として当初予算に全て計上した。		
		生じた効果	適正な歳入の規模に見合う予算規模とすることができた。		

番号	追6	担当部課	総務部財政課
取組事項	予算編成におけるK P I（重要業績評価指標）の導入及び予算編成過程の公開（見える化）		
取組内容	予算編成において、K P Iを導入した主要事業シートを事業担当課が作成し、それを用いて事業単位で費用対効果や重要度を意識した査定を行う。さらに、査定額の推移や査定理由などの予算編成過程を財政課ウェブサイトで公開する。		
効果	予算要求時にK P Iを設定することにより、事業担当課自らがこれまで以上に事業目的を明確化し、その効果を見据えた適切な予算要求を行うことができる。財政担当においては、K P Iが妥当か、限られた財源の中で優先度の高い事業か、事業費は適切か、という視点で査定を行うことができる。また、予算編成過程を市ウェブサイトで公開することにより、「予算の見える化」を図り、市民の理解が深まることが期待される。		

		H27	H28	H29	
実施 スケジュール	予算編成におけるK P Iの導入及び予算編成過程の公開	計画	—		
		進捗	—	実施	
	H28	実施内容	平成29年度当初予算編成において、K P Iを導入した主要事業シートを用いて予算要求・査定を行った。予算要求段階から市長査定に至る予算編成過程及び査定理由を市ウェブサイトで公開した。		
		生じた効果	事業担当課自らが費用対効果を意識した事業計画・予算計画に努めた。また、主要事業シートの公開により「予算の見える化」を図った。		

番号	追7	担当部課	市民健康部中央看護専門学校事務局			
取組事項	中央看護専門学校の閉校					
取組内容	近隣において複数の看護系大学が開設され、学生の確保が難しくなったこと等の状況を考慮し、学生募集を停止し、閉校する。					
効果	学校運営の経費負担の削減を図る。看護師養成という同じ目的で開設された市内の複数の看護系大学の民間活力に期待できる。					
実施スケジュール	中央看護専門学校の閉校		H27	H28	H29	
			計画	検討	実施	継続
			進捗	検討	実施	
	H27	実施内容	受験者数の推移、近隣における看護系大学の開設状況等を調査し、将来の見通しを検討した。			
		生じた効果	-			
	H28	実施内容	平成29年3月定例市議会において、一宮市立看護師養成学校の設置及び管理に関する条例の廃止について承認を得たため、平成30年4月の入学生をもって学生募集を停止し、平成33年3月末日に閉校することが決定した。			
生じた効果		-				

## 5 市民等との協働による地域力の活用

番号	追8	担当部課	企画部企画政策課			
取組事項	市政ワークショップによる市民参加制度の導入					
取組内容	計画等の策定時や新規事務事業の企画立案等に際し、素案策定の前段階で市民意見を聴取するためのひとつの方法として、「市政ワークショップ」を実施する。					
効果	市民参加の機会を拡大し、多様な意見を聴くことができる。					
実施スケジュール	市政ワークショップによる市民参加制度の導入		H27	H28	H29	
			計画	実施	継続	
			進捗	実施	継続	-
	H27	実施内容	3月19日開催：尾西グリーンプラザ本館棟・ホール棟跡地の有効活用を考える			
		生じた効果	32名の参加により意見を受けた。			
	H28	実施内容	①7月2日開催：高齢者を孤立させないまちにするために、私たちにできること ②9月10日開催：交通事故の無い安全で安心して暮らせる社会を実現するために			
生じた効果		①43名②15名の参加により意見を受けた。				

## V 取組による財政効果

「第3期集中改革プラン」の取組によって見込まれる期間中の財政効果額の見込みを示します。実施年度が未定の取組や、効果額の試算ができない取組については記載していませんが、毎年度の実績調査後に効果額の公表を行います。

(歳入の確保)

(単位：千円)

番号	取組事項	効果額			
		H27	H28	H29	小計
36	ふるさと納税（いちのみや応援寄附金）の活性化	43,515	24,441	18,628	86,584
39	一般競争入札による行政財産の賃貸	410	724	645	1,779
40	木曾川文化会館ネーミングライツ事業		1,080	2,160	3,240
追2	国の浄化槽設置整備事業の適用選択の見直し		1,718	3,682	5,400
追3	歩道橋ネーミングライツ事業			400	400
	合計	43,925	27,963	25,515	97,403

(歳出の削減)

(単位：千円)

番号	取組事項	効果額			
		H27	H28	H29	計
42	電気料金の節減	△ 93,933	△ 135,006	△ 135,006	△ 363,945
43	市立保育園給食調理業務委託の推進	△ 15,366	△ 25,914	△ 24,220	△ 65,500
44	ごみ収集業務委託の推進	5,225	△ 7,981	3,733	977
45	ごみ焼却施設管理業務委託の推進	△ 4,442	△ 8,800	△ 13,158	△ 26,400
46	指定管理者制度の導入（尾張一宮駅前ビル）		△ 28,145	△ 28,145	△ 56,290
47	学校給食調理業務委託の推進	△ 10,116	△ 18,239	△ 21,205	△ 49,560
50	水道料金等の徴収業務の民間委託		△ 42,458	△ 42,458	△ 84,916
	合計	△ 118,632	△ 266,543	△ 260,459	△ 645,634

◎ 一宮市行財政改革大綱（平成 27 年度－29 年度）

平成 27 年 10 月 策定・公表

平成 28 年 10 月 平成 27 年度実施状況を公表

平成 29 年 10 月 平成 28 年度実施状況を公表

愛知県一宮市

総務部行政課 分権・文書・法制グループ

〒491-8501

一宮市本町 2 丁目 5 番 6 号

Tel 0586-28-8956

Fax 0586-73-9127

電子メール gyosei@city.ichinomiya.lg.jp